

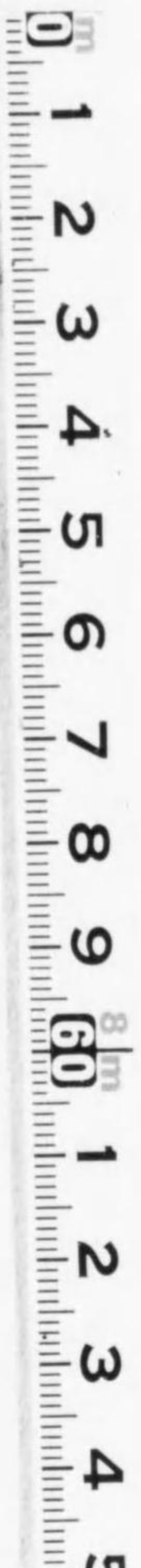
特224

21

友岡師講述

貨幣論

昭和七年度法政大學講義



始



時224
21

友岡師講述

貨

幣

論

昭和七年度法政大學講義



貨幣論 目次

第一章	貨幣ノ必然性	一
第一節	商品及「價値」	一
第二節	貨幣ノ成立	一〇
第二章	貨幣ノ諸機能	二三
第一節	價値尺度 (Standard of Value)	二四
第二節	流通手段 (Circulating Medium)	三八
一	商品流通	三八
二	貨幣流通	四五
三	鑄貨及「價値」章標	五五
第三節	本末ノ貨幣	七四
一	概説	七五
二	蓄藏手段 (退藏貨幣)	七五

第一章 貨幣ノ必然性

第一節 商品及價値

商品生産ト云フ生産關係ハ他ノ物ノ生産關係カラ區別サレル根本的特長ハ私有性分業ニ有ル。商品生産社会ノ各成員ハ社会的分業ノ結果トシテ直接自己ノ全欲望ヲ充足ス可キ凡ソノ種類ノ財貨ヲ自ら生産スルコトハ出来ナイ。各成員ハ從ツテ其ノ物質的生活ノ必要ノ為ニ他人ノ生産ニ依頼シナケレバナイ。ト同時ニ自身モ又他人ノ為ニハ生産セネバナイ必要ニ迫ラレル。併シ他方テハ生産手段ガ私有セラレル結果トシテ其等ノ生産ハ夫々私事トシテ無政府的ニ營マシ其ノ生産物ハ私有サレル。從ツテ各成員ガ其ノ物質的欲望ヲ充シ得テ社会ノ物質代謝ガ有效ニ遂ゲラレル為ニハ各成員ハ私有権者トシテ自己ノ生産物ヲ相互ニ交換スル外ハナイ。若シ此ノ交換が行ハレナイナラバ生産物ノ分配ハ不可能ナル。生産物ノ分配が行ハレナイナラバ生産的消費モ個人的消費モ總

ジテ消費ハ不可能ナル。若シ消費が行ハレナイナラバ生産ハ不可能ナリ。
從ツテ社会ノ再生産過程ハ中断サレル。交換ハ私有性分業社会或ハ商品生産社
会ニ於テハ社会ノ再生産過程其ノモノ、一段階デアツテ之ニ依ツテ始メテ生産
分配消費ハ一聯ノ中断サレナイ過程トナル。

元来人間ハ唯ニ自然ニ働キカクルバカリテナク彼等ハ一定ノ方法ニ於イテ相
互ニ作用ヲ持ツ。彼等ノ活動ヲ相互ニ交換スルヲニ依ツテノミ生産スルモノテ
アルガ私有性分業ノ下ニ於テハ人ハ相互ニ作用シ相互ニ活動交換スル方法ハ私
有者トシテ生産物ヲ交換スルコトアルノミデアル。彼等ハ交換ヲ通ジテノミ
社会的連絡ニ入り社会的總生産ノ成果ニ参与スルコトが出来ル。從ツテ此ノ意
味ノ交換ハソシ自体必然的デアリ規則的デアリ客観的デアル。勿論共產主義的
社会ニ於イテモ交換ハ起リ得ル。然シソレハ或ニ生産手段が直接社会ノ共有ノ
下ニ置カシテ居ル結果トシテ計画的ニ共同的ニ生産サレ分配サレタ後ニ起ル所
ノ云ハハ私的矯正デアツテ殆モ一家族内ノ子供達ハ其ノ玩具ヲ相互ニ交換スル
場合ノ如シ。其レ自林全ク支給レテ偶然的ナ主観的ナモノデアル。丁度其ノ子

供同志ノ玩具ノ交換が行ハレルカ否カハ其ノ子供達ニ属スル。家族ノ經濟生活
ノ再生産ニ何等本質的関係ガ無イト同ジク、カカル交換ハ遂ゲラレル否カハ全
然其ノ共產主義的社會ノ再生産過程ニ対シテ毫モ本質的ナ障害トハナラナイシ
又ナリ得ナイ。然シ私有性分業社会ニ於イテハ之ト全ク趣ヲ異ルトスル例ヘバ其
レハ天災ノ如キ外部カラノ妨害デアルト或ハ恐慌ノ如キ内部カラノ攪乱デアラ
ウトモ其ノ如何ナル原因ニ基クカニ拘ラス交換ノ不能ニナルト云フコトハ社会
ノ物質代謝ノ媒介作用ヲ破壊乃至停滞シ直チニ其ノ社会ハ物質的生涯ノ再生産
過程ニ影響スル。此ノ莫ニ於イテ前ノ場合ノ交換ト後ノ場合ノ交換トハ同ジク
物ノ交換デ有ルトハ至ドモ対蹠的ニ異ツテ居ル。

カカル交換ノ為ニ生産サレタ財貨ヲ商品ト称シ、カ、ル商品ハ或ニ述ベタル
如ク交換スル為ニ生産サレタ財貨デアリカラ其ノ所有者ニトツテハ非使用価値
デアリ、其ノ非所有者ニトツテハ使用価値デアリ。從ツテ商品所有者ハ必然ニ
其ノ生産物ヲ取り換ヘネバナラナイ。而ラバ商品所有者ハ如何ナル割合ニ依ツ
テ其ノ商品ヲ交換スルカ、商品ヲ交換シテ所謂交換価値ヲ決定スルモノハ Money

デアル。成程商品所有者が交換スル場合ハ交換当事者相互ニ相手方ヲ商品所有者トシテ承認シ相互ニ他方ノ同意ヲ得テ換言スレバ相手方共通ノ意思行為ニ依ツテ一定ノ権利関係ヲ設定シ其レニ從ツテ自己ノ商品AノX量ヲ譲渡シ相手方ノ商品BノY量ヲ獲得スルノデアルガ、然シカ、ル権利関係ナリ意志行為ナリハ其レハ苟クモ私有制分業ト云フ一定ノ生産関係ノ下ニ存ル

人間ニトツテハ彼等ノ物質的生活ノ再生産上必然ノ実行サレネバナラスモノデアル限リ内容上最早当事者相互ノ單邊ナリ給レナ主觀的ナ考慮カラハ独立シテ或一定ノ客觀的事柄ニ依ツテ制約セラレ聲口後者ノ反映トシテノミ意義ヲ持ツテ有口ウコトハ容易ニ知り得ル。尚且其ノ形式内容ノ如何ト云フコトニア

ル。先ツ商品ノ交換ヲ分析シテ見ヤウ。例ヘバX量ノ小麦ニハY量ノ鉄ト交換サタトスル。然ラバX量ノ小麦||Y量ノ鉄ハ何ヲ標準トシタノニ相等シイノテ有ルカ。小麦ト鉄トハ夫々使用価値ヲ異ニシ夫々品質ノ異ツタ欲望ヲ充足シ得ルカラコソ相互ニ交換サレルノデ有ルカラ其ノ使用価値ハ相等シク無イコトハ最

初カラ明カデアルニモ拘ラスX量ノ小麦ハY量ノ鉄ト相等シイトスレバ、ソレハ鉄デモ小麦デモ無イ兩者ノ何レデモ無イ或ル者三者ノ共通ノ物トシテ、乃今实体ハ商品ノ幾何學的ナ物理的ナ化學的ナ其ノ他ノ自然の性質デ有リ得ナイコトハ明カデアル。斯カル如キ諸商品ノ感性的ナ性質ハ成程商品ヲ使用価値タラシムル物デ有ルガ其等ノ使用価値ハ価値ノ一分子モ含ンデ居ナイ。ソコデ此ノ商品ノ使用価値換言スレバ有用性ヲ抽出スルト後ニハ唯人間労働ノ体化物換言スレバ物ニ対象化サレタ人間労働ト云フ性質大ガ残ル。之ハ如何ナル物デアルカ、人間労働ノ体化物トシテ商品ハ最早小麦デモ鉄デモ其ノ他如何ナル有形的性質、感性的性質モ持タナイ。又ソレテ対象化サレテ居ル人間労働ハ最早例ヘバ耕作労働デモ製鉄労働デモ其ノ他如何ナル有形的感性的労働デモ無イ。

蓋シ商品ノ使用価値有用性ノ抽出ト共ニ商品ノ有形的性質、感性的ナ性質、從ツテ物ハ商品ヲシテ、カクアラシメル物ノ有形的、感性的性質ヲ同時ニ抽出サレルガ故ニ人間労働ノ体化物ニ対象化サレタ人間ハ其レ自身全ク具體性無キ

抽象的ナ物デアール

次ニハ人間労働ノ体化物トシテハ小麦モ鉄モ其他一切ノ商品ハ互ニ区別無キ物デアリ物ニ対象化サレタ人間労働トシテハ最早個人的ト生産條件ノ異ルニ從ツテ夫々異リ得ル個人労働ヲハ無ク小麦ニ体现サレル
人間労働モ鉄ニ体现サレル、人間労働モ凡テ甲ノ労働モテノ労働モ一切区別平等ナ一般のナ物デアール、人間労働ノ体化物、物ニ対象化サレタ人間労働、全ク個性無キ一般のナ物デアール、経済学批判ニ曰ク、
實際対象物ニ於テハ使用価値ヲ生産スル活動ノ差位トシテ表ハレル物ハ生産過程ニ於テハ使用価値ヲ生産スル活動ノ差異トシテ表ハレル、
デアールカラ交換価値ヲ創造スル労働ハ使用価値ノ特殊ナ素材ニ対シテ無関係デアールト同様ニ労働自体ノ特殊ナ形ニ対シテモ無関係デアール、
更ニ又種々ナル使用価値ハ異ル個人ノ活動ノ生産物デアリ、
從ツテ個人的ニ異ツタ労働ノ結果デアール、
然ルニ交換価値トシテハ種々ナル使用価値ハ等一ナ無差別ハ労働即チ労働スル者ノ個性ノ消エ去ツタ労働ヲ体现シテ居ル物デアール、
ガカラ交換価値ヲ創造スル抽象的ナ一般のナ労働デアール

有ルハ原書四頁)レ 之乃チ交換価値、モツト最密ニ云ハバ価値ノ実体デアール、
商品ハ力、ル実体トシテ価値デアリ從ツテ互ニ等致セラレルノデアール、
故ニ小麦ノ小麦ニイ量ノ鉄トガ相等シイハ、
力、ル抽象的ナ一般の人間労働ノ等量ヲ体现シタ物トシテ相等シイカラデアール、
然シテラ人間労働ナル物ハ本来凡ベテ個人的労働デアリ唯具体的労働デアールノデアールガ上述ノ如キ商品価値ノ実体トシテノ抽象的ナ一般の人間労働ハ如何ナル性質ノ人間労働デアールカ、
之ハ全ク人間労働ノ一ツノ社会的ナ性格ニ外ナラナイ、
乃チ人間ガ私有制分業ト云フ一定ノ生産関係、
換言スレバ社会的分業ノ関係デアリ必然ニ個人ニ依賴シ從屬シナケレバナラナイガ私有財産性ノ関係ハ同じ必然ノ理由ニ依ツテ直接ソウスル、
出来ナイ、
從ツテ労働ノ生産物ノ交換ヲ通シテノ互ニ労働力ヲ交換スル、
出来ル程ナ一定ノ生産経済関係ニ入ツテ経済スル場合ニ人間労働ノ上ニ基礎セシメラレル所ノ史的ナ社会的ナ性格デアツテ今ハ私有制分業ト云フ社会関係ノ下ニ於ケル人間労働ノ仕方ニ基ク社会的性質デアール、
此ノ関係ノ下ニ於テ生産ヲ営ム限リ個人的ナ具体的ナ

七

人間労働ハ其ノ社会的存在ノ仕方ノ上ニ必然ニ一般化サレ抽象化サレザルヲ得
ナイノデアル。

商品生産社会以外ノ社会的生産ニ於ケル労働生産物ハ此ノ自然的形体ニ於テハ
其ノ社会的生産物ヲ有リ得ルガ一ツ商品生産社会ハ社会的生産ニ於テハ合
同生産物ハ交換サレテ始メテ現実ニ社会的生産物トナリ其ノ生産ニ支出サレタ
個人ノ労働ハ交換サレテ始メテ換言スレバ抽象的一般的労働トシテ始メテ現実
ニ社会的總労働ノ一分子トナルノデアル、其ノ抽象的一般的人間労働ノ乱用ハ
單純ノ労働力ノ支出ハ凡テ平均的労働ハ何等カノ形式ヲナサレザルヲ得ナイ所
ノ單純労働ヲ有ル具ノ平均的労働ノ特質ソレ自体ハ固ラ異ニシ文階ノ段階ヲ異
ニスルニ從ヒコトナルガ特定ノ社会ニ於テハ与ヘラレタ物トシテ現ハレル、商
品ハ価値トシテハ只斯様ノ單純労働、人間労働ノ体现デアル、然シ商品ノ価値
量ハカカル価値ヲ形成スル労働ノ分量ヲ有ル、乃テ労働時間ニ依ツテ測定サレ
ル此ノ單純平均労働時間ハ現存ノ社会的ニ正当ナ生産條件ト労働ノ熟練及ビ強
度ノ社会的平均程度トヲ以テ何等カノ使用価値ヲ生産スルニ必要ナル労働時間

デアルカラ簡單ニ社会的ニ必要ナル労働時間トモ見ルヲカ出来ル、様シ既ニ述
ベタルガ如ク個人の労働時間ハ之ヨリ其ノ社会的必要ナル労働時間デハナイ
サモナケレバ人間が怠惰ヲアリ不熟練ヲ有レバ有ル程商品ノ生産ニ益ニ多クノ
労働時間ヲ必要トスルガ故ニ商品ノ価値量ハ多イ訳デアル、從ツテ個人の労働
時間ハ社会的ニ必要ナル労働時間ニ還元サシネバナラナイガソレハ既ニ述ベタ
如ク交換ニ於ケル交換者相互ノ競争ノ平均作用ニ依ツテ始メテ實現サレルノデ
アル、之商品ノ価値ハ直接社会的ニ必要ナル労働ヲ以テ現ハサレル、商品ト商
品トノ交換比例トシテ換言スレバ交換価値トシテ表現サレル所以デアル、故ニ
商品ノ生産ハ社会的必要ナル労働時間ハ不変デアレバ其ノ商品ノ価値ノ大キサ
ハ依然トシテ不変デアル、然ルニ其ノ生産ノ為ニ社会的ニ必要ナル労働時間ハ
労働ノ生産力ノ変化ニ伴ツテ変化する労働ノ生産力ハ大ナレバ大ナル程商品ノ
生産ノ為ニ社会的ニ必要トサレル労働時間ハ益ニ減少サレテ所ル、労働ニ対シ
テ其ノ分量トハ正比例ニ其ノ生産力トハ反比例ニ變動スル、
以上第一節ニ於テ我々が述べラレタ一ハ之ヲ要スルニ商品ヲ生産スル労働

ニ対シ其ノ工業的特質トシテ二重ノ性質ヲ含ンデ居ルト云フコトニ備着スル
乃チ商品ヲ生産スル労働ハ一方デハ商品ノ使用価値ヲ作出スル有形的労働デア
同時ニ他方デハ商品ノ交換価値ヲ構成スル抽象的一般労働デ有ル。此ノ労働ノ
二重性コソ商品ヲシテ使用価値並ビニ価値ヲ同一物ナラシムル所以デアツテ、
而カモ其ノ労働ノ二重性或ヒハ商品ニ内在スル使用価値ト価値ノ因子ハ實ニ私
有性分業社会ノ生産物ト生産関係トノ対立ト統一トヲ表現スルニ外ナラナイ
此ノ労働ノ二重性ノ理解ハソレヲ握ムコトハ如何ニ重要デ有ルカハ其ノ発見者
Marx ハ之ヲ以テ「経済学ノ理解ハソレヲ中心トシテ理解スル枢軸デ有ル」ト
云ヒ其ノ重要ヲ強調シテ居ルノニ徴シテモ明カデアアル。

第二節 貨幣ノ成立

既ニ述ベタ如ク私有制分業ノ下ニ於イテ交換ハ社会的必然デ有ル。此ノ交換
ノ最初ノ形態ハ直接的ナ生産物ノ交換デアツテ其ノ最も原始的ナ物ハ原始共同
体ト原始共同体トガタマタ接触シタ地兵ニ起ツタ共同体相互ノ過剰ナ生産物

ノ交換デアツタ。交換ノ起源ハ交換ノ一般條件タル私有財産制以前ニ遡ルト古
代以前共産制ト雖モ一ツノ共同体ハ他ノ共同体ニ対シテハ自然ノ排他的ノ成員
デ有ツテ一種ノ財産制ガ成立シ得タ程共同体相互ノ間ニハ自然ノ分業ガ存在シ、
從ツテ又交換ノ條件ガ備ハツテ居タカラデアアル。

(途)「各共同体ハ夫々ノ自然環境ノ中ニ相異ツタ生産手段ト相異ツタ生活資
料トヲ見出スモノデアアルカラ從ツテ生産方法モ生産形式モ生産物モ共同体ノ異
ル故ニ相異ツタ物ニナツテ來ル。ソシテ其ノ故ナ原生的ナ差異コソ各共同体ガ
接触スル場合、其ノ生産物ノ分配ヲ可能ナラシメ、カクシテ之ヲ漸次ニ商品化
セシメル原因トナルモノデアアル。交換ハ各生産部面間ノ差異ヲ作り出ス物デア
ナク、寧ロ相異ツタ生産部面ヲ相互ニ関連セシメ、斯クシテ之ヲ社会的總生産
ヲ多カシ、少ナカレ相對立シタ各部門ニ轉化セシメルノデアアル。此ノ場合本來
相異リ相独立シタ各生産部面間ノ交換ニ依ツテ社会的分業ガ成立シテ來ル。
商品ハ交換以前ニハ商品デハナク換名スレバ交換ヲ目標ニ最初カラ生産サレ
タモノデハナク交換ニ依ツテ始メテ商品トナルノデ有ツテ其ノ交換比例ハ最初

ハ偶然テ専ラ生産物ヲ相互ニ譲渡セントスル其ノ所有者ノ意思活動ニ依ツテ決
定サレル、然シ斯クノ如クシテ共同体ノ生産物が一先共同体ノ外部ノ商品トナ
ル、ソレハ又共同体ノ内部ニ及作用シテ対内外ノ商品トナリ財貨ノ使用価値ト
交換価値トハ殊ニ分歧シ始メル所テ、カクノ如クシテ私有制分業ガ多少共共同
体ノ内部ニ侵蝕シテ之ヲ崩壊セシメル、社会的分業ハ益々事純化シテ人間ノ敏
望ハ益々複雑化スル、從ツテ各人ノ物質的生存ガ交換ニ依存スル程度ハ益々著
シクナルカラ既ニ労働生産物ノ一部分ハ予メ意識的ニ交換ノ目的ノ為ニ生産サ
レ、交換ハ規則正シイ社会的過程トナルト共ニ一種類ノ生産物ト他ノ種々ナル
生産物トノ全面的交換ガ絶対ニ必要ニナツテ来ル、例ヘバ小麦ハ最早ヤ鉄トバ
カリテナク綿布ヤ塩ヤ金等種々ナル生活必需品ヤ奢侈品ノ全面的ノ交換ハ必要
トナル、而ルニ此ノ全面的交換ノ必要ハソレヲ自ラ一ツノ困難ナ問題ニ着スル、
ソレハ商品ガ商品トシテハ使用価値デアルト同時ニ交換価値デ有ルト云フ互ニ
ニ相容レナイニ性質ノ統一物デ有ルト云フ事情ニ基イテ居ル、例ヘバ小麦ノ生
産者ハ彼自身ニトツテ使用価値デアル他ノ諸商品例ヘバ鉄、綿布、塩、金等ヲ

獲得シヨウトスルノデアルガ其ノ小麦ト他ノ諸商品トノ交換ニ當ツテハ少クモ
小麦ト等価値ノ換言スレバ等量ノ社会的必要労働時間ノ具体物トシテノ諸商品
ヲ獲得シヨウトスル、從ツテ小麦ノ生産者ダケノ立場カラ云ヘバ彼ノ商品小麦
ガ他ノ商品所有者達ニ対シテ使用価値ヲ持ツウガ持ツマイガ、ソレヲ等価値ノ
他ノ任意ノ諸商品ニ實現シ得レバ良イ、然シ商品小麦ガ斯クノ如ク価値トシテ
實現シ得ル為ニハ商品小麦ハ他ノ商品所有者ニトツテ使用価値デアルカ否カハ
換言スレバ小麦ノ生産者ガ其ノ生産ニ反シテ個人的労働ガ他人ニ取ツテ從ツテ
社会的ニ有用ナ形式デ支出サレタカ否カハ既ニ述ベタ如ク交換ニ依ツテ始メテ
確カメルヲ出束ル、カクシテ如何ナル商品モ其レガ使用価値トシテ實現サレ
得ルニ先立ち、予メ価値トシテ實現サレナケレバナラナイ、而ルニ又如何ナル
商品モ価値トシテ實現サレ得ルニ先立ち、予メ社会的ニ使用価値有ル物デナケ
レバナラヌコトハ既ニ述ベタ所デ有ル、之ヲ要スルニ商品所有者達ハ夫々其ノ
個人的立場カラ其ノ所有スル商品ガ他人ニトツテ使用価値ヲ持ツウガ持ツマイ
ガソレヲ等価値ノ他ノ任意ノ商品ニ實現シ得レバ良イノデアルガ他ノ凡テノ商

品所有者達モ又一様ニソウスルコトヲ望ムガ故ニ彼ノ個人的欲望ノミガ独特ニ社会的デアアルコトハ許サレナイ

斯クシテ各商品生産者ハ一方ニハ社会的分業ノ単純化ト欲望ノ複雑化カラ全面的交換ノ止ミ難キ必要ニ迫ラレラ他方ニハ彼等ガ負擔スル私有財産制ノ故ニ直接ニソウスルコトノ出来ナイ矛盾ニ陥ル。経済学批判ニ曰ク「ソコデ同一ノ関係ガ一方ニ於イテハ品價的ニハ等シク只分量的ニハ異ル大サトシテハ諸商品間ノ関係乃チ一般的労働時間ノ対象化トシテ諸商品ヲ等値ニ置ク関係デアリソレト同時ニ他方ニ於テハ品物ヲ異ニスル物トシテ、乃チ特殊ナ欲望ニ対スル特殊ナル使用価値トシテノ諸商品ノ関係簡單ニ云ハバ諸商品ヲバ現実ノ使用価値トシテ區別スル関係デナケレバナラヌ。然レ此ノ等シクスル関係トハ互ニ排斥スルソコデ問題ノ解決ハ一方ノ解決ハ他方ノ解決ヲ前提トスルガ故ニ循環論法トナリ、問題ノ要件ハ一方ノ條件ヲ満スコトハ其ノ他地方ノ條件ヲ満スコトナルデ凡テ矛盾サレタ物トナルデアアル。之通俗ノ教科書ニ所謂物交換ノ不便ノ困難ト云ハレルモノデアアル。

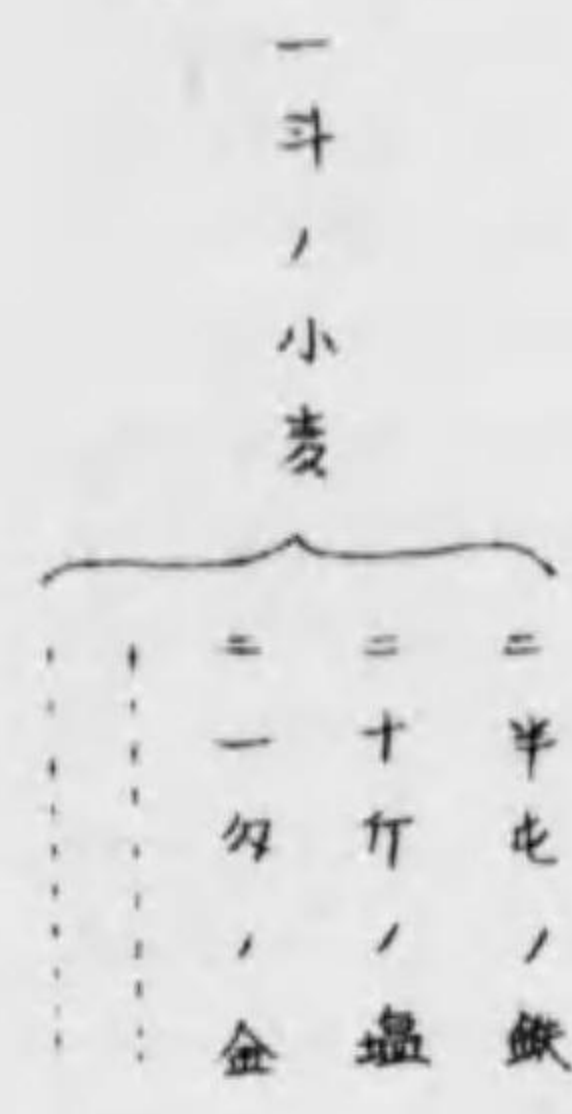
(註) 2. 例ハバ *ferrous* ハ良ク知ラレテ居ル如ク此ノ物々交換ノ困難トシテ三條件ヲ舉ゲテ居ル。

- 一、 合符ノ欠矣 (*Want of Coincidence*) 乃チ其ノ人ノ処分シ得ヘキ所有物が互ニ相手ノ欲望ニ適合スル様ニ人ヲ見出スコトノ困難
- 二、 価値尺度ノ欠矣 (*Want of a measure of value*) 各商品ハ天々別個ノ商品ニ依ツテ種々ノ価値表現ヲ与ヘラレルカラ百相ノ諸商品ニハ少クトモチ 950 知以上ノ交換割合が必要デアル
- 三、 更ニ *want of means of subdivision* 乃チ多クノ財貨ハ之ヲ種々ナル

重ニ分割スルコトノ不可能カラ生ズル困難デアル。所デ一見シテ明カデアアル如ク之等ノ諸困難ハ莫ニ交換セラル可キ商品ガ使用価値並ビニ価値ノ相容レナイニ趣ノ等一物テ有ルコトニ基ク物デアツテ本来商品性ヲ把握スルコトニ依ツテ始メテ理解サレ得ル物デアアル。此ノ商品性ヲ把握シ得ナカツタ *ferrous* ガ全面的交換ノ必要ト矛盾ヲ單ニ表面的ニシカ理解出来ナイノハ決シテ不思議デハナイ。

從ツテ商品生産者達ノ全面的交換ハ偶然的ニシカ行ハレナイ。然シ商品生産者社会ハ商品生産社会トシテ存続セントスル限り今ヤ規則的ナル全面的交換ノ必要ハ凡ソ絶対的デアル。此ノ必要ノ解決ガ乃チ貨幣デアル。此ノ必要ハ如何ニ解決セラレルカ介業ガ多少トモ單純化シ欲望ガ多少トモ複雑化シテ来ルト生活ノ必要カラ故令ソレガ如何ニタドクシキ過程デ有ツテ又偶然的過程デアルトシテモ生産物ノ全面的ノ交換ハ既ニ必然ニ定ツテ居ナケレバナラナイ。ソシテソレガ既ニ定ツテ居ルナラバ解決ノ手段モ既ニ存在スル。同題ハ其ノ解決ノ手段ト同時ニ発生スル。

例へバ小麦ノ一斗ガ鉄ノ半屯、綿布ノ三反、塩十斤、金一匁ト交換サレタトスルナラバ



トナル。既ニ述ベタ如ク商品ノ価値ハ其ノ本質上交換価値トシテヨリ以外ハ表現サレ得ナイ。例へバ商品Aノ価値ハソレ以外ノ商品Bニ依ツテ相對的ニ表ハサレル。此ノ場合商品Bハ變動的ニ商品Aノ価値表現ノ材料トシテ、乃チ其ノ等価トシテ作用スル。我々ハ価値表現上商品Aハ相對的価値形態ニ有リ商品Bハ等価形態ニ有ルト云フ所デ商品小麦一斗ノ相對的価値ハ種々ナル商品ノ一定量ニ依ツテ換算スレバ種々ナル等価形態ニ依ツテ表現サレテ居ル。ソシテ商品世界ヲ構成スル種々ナル商品系列、小麦トノ全面的交換ガ拡大スルニ從ツテ商品小麦ノ等価形態ハ無限ニ異リ得ル。然ルニ此ノ事ハ事實ガ既ニ一度シ得ル可能性ヲ有シテ居ル。量ハ質ニ転化スル乃チ同一種類ノ商品ガ他ノ種々ナル商品ト交換サレルコトハ同時ニソレガ種々ノ商品ノ相對的価値ガ單純ニ同一ノ商品小麦ニ依ツテ共通ニ表現サレルコト。換算スレバ共通ナル等価形態ヲ持ツコトヲ意味スル。從ツテ上ノ因ハ転倒スルコトガ出来ル。之ヲ転倒スルト



今迄ハ或ル商品ノ価値ハ或ハソレト使用価値ヲ異ニスル或一ツノ商品ニ依ツ
 テカ(單純別又ハ偶生ノ価値形態)或ハ多数ノ商品ニ依ツテカ(總体的又ハ
 拡大サレタ価値形態)表現サレタガ何レニシテモソレハ一商品ノ価値ヲ其ノ商
 品ト異ル他ノ商品ニ依ツテ表現スルダケニ止ツタ、從ツテ一商品ノ価値形態ト
 他ノ商品ノ等価値態トノ間ニハ例ハバ一屯ノ小麦ニ一斤ノ塩、一斤ノ砂糖ニ二
 反ノ綿布ノ如ク何等ノ統一性モナカツタ、而ルニ今ヤ商品世界ハ諸商品ノ相対
 的価値ハ凡ベテ一種同一ノ商品例ヘバ小麦ニ依ツテ簡單ニ統一的ニ表ハサレ凡
 テ小麦ニ等シク推量的異ル物トシテ表現サレルニ至ツタ、諸商品ハ今ヤ価値ト
 シテハ凡テ小麦ニ等シイ物トシテ相互ニ全ク無差別平等ノ物トシテ表ハレ、從
 ツテ量的ニモ互ニ比較サレル物トシテ表ハレルコトトナル、
 之ニ照応シテ小麦ハ其レ自ラノ現物形態其ノ物ハ商品世界ハ価値ノ独立ナ表

現トナリ從ツテ今ヤ如何ナル商品トモ直接交換サレル物トナル、蓋シ一般の
 等価値形態タル商品例ヘバ小麦ノ現物形態ハ其ノ物ノ価値ノ独立ノ形態デアル
 カラ小麦ガ他人ニトツテ快用価値ヲ持ツカ否カハ最早全然問題ニナラナイ、例
 ヘバ商品綿布ト交換サレル小麦ノ快用価値ノ一定量ハ最早其ノ快用布ノ価値ハ
 社会的ニ妥当ナ形態ヲ表現スル物トシテ換言スレバ其ノ快用直接ニ綿布ノ価値其
 ノ物ヲ實現スル物トシテ表ハレルカラテ有ル

所デ例ヘバ小麦ガカクノ如ク諸商品ノ一般的等価値形態ヲ取得スルノハ商品
 世界ハ諸商品ノ共同行為ニ依ツテノミ可能デアル、各商品ニトツテソレ自ラカ
 カル一般のナ等価値態ノ買堪者デアルヲハ商品ノ本質トシテ止ミ難イ欲望デア
 ルガ何レノ商品モ商品トシテハ平等ニシテ此ノ特権者タルヲ要求スル事が出
 来ルノハ恰モ或市民ガ全市民ノ名ニ於テ行為シ得ル為ニハ全市民ハ共同シテ其
 ノ中ノ一人ニ対シテソレヲ求ムルヲニ依ツテ始メテ可能デアル如ク、云ハバ商
 品トシテ平等ノ市民権ヲ有スル全商品ノ一商品ニ対スル共同行為ニヨツテノミ
 可能デアル、所デ之等ノ全商品ノ共同行為トハ乃チ全商品ノ全面的交換ノ

Process = 外ナラナイ、此ノ過程ヲ通ジテ一商品ノ現物形態ガ他ノ諸商品ノ統一的ナ価値表現トナル、從ツテ例ヘバ綿布ノ相對的価値ガ小麦ニ依ツテ一般的ニ表現ケレルナラバ同時ニ其ノ他ノ一切ノ商品ノ価値モ又小麦ニ依ツテ一般的ニ表現サレネバナラナイ、斯クシテ商品小麦ガ一般的等価値形態タル社会的機能ノ負擔者トナルトニ依ツテ、其ノ他ノ諸商品ガ統一的ナ価値表現ヲ獲得スルトト同時ニ小麦ソレ自身ハ何等ノ統一的価値表現ヲ有セス他ノ種々ナル商品ニ依ツテ夫々異ツタ個別的ナ価値表現ノ形式ヲ持ツニ過ギナイ、強ヒテ一般的ニ表現シヨウトスレバ一斗小麦ト云フ無意味ナ表現ニ陥ラザルヲ得ナイ、カカル商品世界カラモ一商品ノ除外、換言スレバ商品ガ一般的等価値形態トシテ作用スルトトガ狭イ或ハ広イ範圍ニ於イテ終局的ニ固定シタ時一商品ノ自然的ナ形態ト一銀的等価値形態ト云フ社会的機能が不可分ニ合体シタ時其ノ商品ハ貨幣トナルカ最初ハ全ク偶然デアアル、

然シ大体ニ於テニツノ事情ガ之ヲ決定スル、乃チ貨幣トナル商品ハ或共同体ノ生産物ト交換ケレル他ノ共同体ノ生産物力或ハ共同体内部ノ動産ノ中主ナル

物デアアルカ蓋シ實際ニ於イテ商品ノ交換ノ過程ハ最初カラ共同体ノ内部ニ表ハレル物デアハナク共同体ト共同体ノ接觸地帯ニ表ハレ、ソコカラ次第ニ内部ニ假入シテ共同体ヲ崩壊サセテ了フカラデアアル

從ツテ他ノ共同体ノ生産物ハ交換ケレル、生産物ハ共同体ノ内部ニ於イテ最も早く商品トナリ、ソシテカ、ル生産物ハ最早偶然デアハ無く日常的ニ且ツ賢習的ニ種々ナル商品ト交換ケレル様ニナルト其レガ皆貨幣ニナル

ア史上最も早く貨幣形態ヲ発達セシメタ物ハ遊牧民デアツタ、蓋シ当民族ノ所有物ハ凡テ動産カラナリ從ツテ容易ニ讓與ス可キテ有ツタカラデアアル、斯クテ古代ギリシヤ、ローマニ於テ奴隷ガ貨幣材料ニナツタノモ當時奴隷ガ一ツノ動産デアリ遊牧民ノ場合ト同様ニ容易ニ讓與サル可キ物デアツタカラデアアル、ソノ他斯クノ如ク始メテ貨幣トナツタ商品トシテハ象牙、寶貝、穀物、オリ、油、Dog Fossil、武器、煙草、茶、塩、綿布等種々ナル物ヲ掲グルヲが出来ル、然シ商品生産ガ発達シ商品ノ交換ガ地方的範圍ヲ突破シテ普及シテ来ルニ伴ヒ貨幣形態モ其ノ本来ノ性質上一般的等価値形態デアアル社会的機能ニ通ジテ居ル商

品上ニ即チ金屬、金銀ノ上ニ移ツテ行ツタ。蓋シ貨幣商品トシテハ商品ノ現物
形態ハ直接価値從ツテ一般的抽象的人間労働ノ独立ノ表現デアルガ、カカル物
トシテハ單ニ分量上ノ差異ガ有ルダケデアルガ先ヅ貨幣商品ハ其ノ品價ノ均等
性ガ必要デアリ從ツテ又任意ニ分割サレ結果サレナケレバナラヌ。次ニ貨幣商
品ハ商品流通ノ媒介、乃チ流通手段トシテハ運搬ニ便利ヲ有ル故ニ換言スレバ
自由ニ流通シ得ル故ニ比較的小ナル体積ヲ比較的大ナル価値量ヲ表現シ得ル
ガ必要アリ更ニ貨幣商品ハ蓄藏手段トシテハ耐久スル性質、相對的不破壊性
ガ要求サレル。凡バテ之等ノ諸質ニ於イテ金屬、金銀ハ他ノ諸商品ニ比シテ著
シク優越シテ居ル。換言スレバ商品金銀ノ自然的諸質ノ性質ガ如何ナル商品ノ
ソレヨリモ近似的ニ一般的等価値形態乃チ貨幣ト云フ準社会的ノ性質ト一致
シテ居ル。

經濟學批判ニ曰ク「金及ビ銀ハ其ノ本質上貨幣デハ無ク寧ろ貨幣ガ其ノ本質
上金及ビ銀ヲ有ル、社会的過程ノ一般的生産物其レ自身或ハ或生物トシテ社会
的過程其レ自体ガ一ツノ特殊ナル自然物、乃チ土地ノ円藏ニ藏サレテ居リ其レ

ニ二

カラ採掘サレル金屬ナノデアリ。斯クテ貨幣ガ成立スルト凡テノ商品ハ価値トシテハ最早外面のニ把握スル
ガ出来ル。一ツノ独立ノ存在ヲ獲得スル、從ツテ今ヤ商品ハ商品トシテト貨幣
トシテノ二度ノ存在ヲ獲得スル。商品ハ先ヅ商品カラ貨幣へ變形スルヲ出来
ル。而ルニ貨幣トシテハ貨幣商品ノ自然形態ハ其ノ物タル価値ノ存在形態デア
リ。從ツテ其ノ特殊的使用価値ハ其ノ唯一的使用価値ヲ有ルカラカクテ商品
ノ全面的な交換ノ必要ト直接ソウスルヲ出来ナイ矛盾ハ貨幣成立ニ依ツテ克
服サレタ。元ヨリ皆矛盾ハ結局ニ於イテ商品ニ於ケル使用価値ト価値トノ矛盾
ニ從ツテ商品生産ノ根本的矛盾ニ由來スル限り貨幣成立ニ依ル矛盾ノ克服ハ決
シテ矛盾ノ結局的解決デハ無ク單ニ矛盾ノ運動範圍ノ拡大デアリ。從ツテヨリ
大ナル矛盾トシテ表ハレル可能性ガ残サレテ居ルノデアリ。

第二章 貨幣ノ諸機能

以下ニ於テハ便宜上金ヲ貨幣商品ト仮定スル。

二三

第一節 價值尺度 (Standard of value)

貨幣商品金ノ第一ノ機能ハ、他ノ商品ニ対シテ其ノ價值表現ノ材料ヲ提供スルヲ或ハ商品価値ヲ量的ニ平等且量的ニ比較スルヲ出来ル同ジ名称ノ大キサトシテ表示スルヲニアル。之ヲ貨幣ノ價值尺度ノ機能ト云フ。所デカクノ如ク貨幣商品金ガ他ノ諸商品ノ價值表現ノ材料トナリ得ルノハ一切ノ諸商品ノ價值ハ價值トシテハ対象化サレタ人間労働デ有リ從ツテ、ソレ自体同一單位(労働時間)テ測リ得ラレル物デアラカラ諸商品ハ共同的ニ自分達ノ價值ヲ同一ナ特殊ノ商品テ測ルコトガ出来、且、斯クスルコトニ依ツテ其ノ特殊ノ商品ヲ自分等ノ共通ノ價值表現材料タラシムルコトガ出来ルノデアアル。故ニ或ル學者ガ考ヘル如ク諸商品ノ價值ハ本末夫々異價ノ物デ貨幣ノ公分母トシテ始メテ通分セラレ同一單位テ測リ得ラレル物デハ無イ。

價值尺度トシテノ貨幣ハ諸商品ニ内在スル價值尺度即労働時間ノ必然的ナ現象形態デアアル。之ヲ要スルニ貨幣商品金ガ諸商品ノ價值尺度トシテ作用シ得ル

ノハ金モ又本末他ノ商品ト同ジク價值デ有リ抽象的一般的人間労働ノ体化物デ有ルカラデ有ル。

貨幣ハ價值尺度トシテハ其レ自体他ノ商品ト同様ニ價值ヲ持タナケレバナラヌカ否カハ貨幣論ノ上テ最モ古クカラ有ル論争ノ一ツデアアル。所デ金屬論 (Metallism) ト名同論ト古イ論争ハ或ル意味ニ於テ此ノ論争ト見ルコトガ出来ル。

ソレニ付イテハ此ノ向題ニ付イテ長ク引用サレル Knies ト Kimmel ノ見解ヲ擧ゲヨウ。

(Real Knies: das geld
 going Kimmel: Philosophie des gelds)
 Knies ハ云フ、測定スル為ニハ換言スレバ何等力量的ニ規定サレ得ル客體ニ

於ケル量的關係ヲ測定スルニハ測定サル可キト同一ナル物ヲ自ラ特定量ヲ持ツテ居ル対象物ノミシカ測定手段トシテ使用出来ナイト云フコトハ一ツノ自然法的必然性デ有ル。カクテ測定サレル客體ニ於ケル本知量ハ前者ト同價ノ測定用具ノ既知量ニ依ツテ確メ得ラレル。從ツテ一般ニ相異ル諸同體ハ包含スル經

濟価値ノ特定量ハ評価サレ特定サレ得ルシ又サレナケレバナラヌノガ、ソレハ
 全ク其レ自ラガ經濟価値ヲ持ツテ居ル所ノ乃チ其レ自ラ經濟財デアル所ノ対象
 物ニ依ツテノミ可能デアルハ否定出来ナイコトデアル、尤モ *Kries* ノ殊ニ所謂
 經濟価値ノ内容ハ各種經濟學ノ大々異ツタ使用価値ノ異質性ヲ抽象シタ一般
 使用価値デアツテ我々ノ所謂価値ノ内容ハ即チ対象化サレタ人間労働ハ直接
 ニ全然異ル物デアル *Kries* ノ前述ノ見解ハ所謂金屬論者ノ代表的ナ者デア
 ルガ
 之ニ対シテハ次ノ *Simmel* ノ有名ナ及対意見ガアル、

Simmel ニ從ヘバ異ル対象ハ同一ノ性質ヲ有スル場合ニハ其ノ量ヲ比較サレ
 得ルコトハ勿論デアリ從ツテ測定ガニツノ量ヲ直接ノ比較ニ依ツテノミ行ヒ得ラ
 レル場合ハ是非トモ價ノ同一ガ前提サレナケレバナラナイ、ケレドモ測定サル
 可キ物がニツノ量ノ間ノ変化・移動又ハ關係デアル場合ニハ測定ノ手段デア
 ル対象ノ間ノ比例ハ測定サレル対象ノ間ノ比例デアツタナラ後者ハ
 充ルニ測定サレ得ルコトデアツテ対象相互間ニ何等カノ價的相當性ノ存在スルコ
 トヲ必要トシナイコトデアル、乃チ價的ニ相異ルニツノ物ヲ相等シイト認メ
 ルコト

トハ出来ナイガ甲ナル性質ヲ有スル物ノ比例ト乙ナル性質ヲ有スル物ノ間ノ比
 例トハ互ニ相等シイ物トシテ定立スルコトが出来ル、

今ニツノ対象MトNトハ何等カノ關係ノ中ニ立ツテ居ルガ然シ其レハ絶対
 ニ價的相當ノ關係デハナク凡ベテ兩者ノ何レモガ他ノ物ニ対スル準測テ有リ得
 ナイ物トスル、兩者ノ間ノ關係ハ原因結果デアツテモ表徴ノ關係デアツテモ才
 三者ニ対スル共同ノ關係テ有ツテモ其レハ問題デハナイ、

次ニAナル対象ハMノ1/4ノ量ヲ有シBナル対象ハNノ何分ノ一カノ量ヲ存ス
 ルトスル、此ノ場合ニAトBトノ間ノ關係ガMトNトノ間ノ關係ニ対スル物デ
 有ルトスレバBハNノ1/4デナケレバナラヌト云フ結果ヲ生ズルデアロウ、其ノ
 際AトBトハ全ク其ノ性質ヲ異ニシ兩者ヲ直接比較スルコトハ全ク不可能デア
 ルニシテモ一者ノ量ヲ他者ノ量ニ依ツテ規定スルコトハ可能デアル、其処テ *Simmel*
 ハ貨幣ニ依ル対象ノ測定モ以上ノ仕方ニスル時ハ兩者ガ直接ニ比較サレ得ルコ
 トハ必要デアルトスル、カクテ *Simmel* ハ貨幣ハソレ自ラ価値ヲ持ツテ居ナク
 トモ対象ノ価値ヲ 一ハ可能デアルト云フ、乃チ 一各國ノ貨物ハ処理シ得ル貨

物總量ノ特定ノ部分デアルカラ貨物總量ヲAト称スルナラバ各細ノ商品量ハAノLMデアルト、次ニ各貨物ニ依リテ規定サレル価格ハ貨幣總量ノMノソレニ対応スル部分ヲ有ルカラ貨幣ノ總量ヲBト称スルナラバ各細ノ貨物ノ価格ハBノLMデアアル、故ニAトBノ大キサヲ知り特定ノ対象ハ貨物總量中ノ如何程ノ部分ヲ為スカラ知ル時ハ其ノ貨幣價格ヲ知り得ル訳テ有ルシ後者カラ前者ヲ知ルコトモ可能ナ訳デアアル、乃ケ貨幣ト他ノ価値アル対象トハ何等カノ共通ノ性質ヲ持ツテ居ルカ否カノ問題ニ融レルコトナシニ云ヒ投、ルト貨幣ソレ自体価値デアラウガ、ナカロウガ其レニハ關係無ク特定ノ貨幣量ハ対象ノ価値ヲ規定シ又測定シ得ルノデアアル、

此ノ場合ニ *Simmel* ハ一ツノ断書ヲ付ケ加ヘテ居ル、貨幣ノ有る高増加ト價格ノ上昇トノ間、財貨ノ最高ノ増加ト價格ノ下落トノ間ノ關係ニ於テ見ラレル極メテ一般の量的關係ノミヲ前提シ從ツテ貨物ノ總量、貨幣總量及ビ兩者間ノ依存關係、三ツノ概念ノミヲ愈々ニ置クコトニスル、然シ深シテ此ノ例ハ *Simmel* が主張スル極メ貨幣ハ其レ自ラ實體的価値ヲ持タナイデモ対象ノ価値

ヲ測定シ得ルト云フコトノ例證トナルコトが出来ヤウカ

Altman ハ之ニ対スル批評ハ極メテ適切ナ物ト云ツテ居ル (人ハ *Hellfrick*)

彼 *Altman* ハ云ノ

「何々ノ商品ニ対スル 外ナナル表現ハ一切ノ商品ノ価値ガ一ツノ分母ニ通分サレテ居ルコトヲ前提トスル、斯ク前提スルコトニ依ツテノミ商品ト商品總量トノ比較可能性ハ其ヘラレテ居ルノデアアル、而ルニ其ノ分母ト云フノハ物価トシテノ表現サレル所ノ貨幣ニ依ル価値表現ニ他ナラヌ、凡テ一切ノ商品ノ貨幣価値ノ存在カ商品ト商品總量トノ量的比較可能性ノ前提デアアルニモ拘ラズ *Simmel* ハ商品ト商品總量トノ關係カラ商品ノ貨幣価値ヲ見出ソウト欲シ或ハ少クトモカカル見テ理論上可能ナ物ト考ヘル」

實際商品ガ社会ノ商品總量Aノ上ニ考ヘ其フ為ニハソレヲ種々ナ商品ハ何等カノ公分母ニ換言スレバ共通ナル内容ニ還元サレテ居リ、或ハサレ得ルコトヲ前提トスル、何故ナラハ例ヘバ機械ヤパンヤ電燈ヤ羊毛等種々ナル商品ノ總量ハ商品ノ紛末ト線シテ (*Waren: Preis*) 唯雜然トシテ商品ノ集塊デアアルニ過

ギズ何等カ統一のナ数量的表現ハ存在シ得ナイ限り細々ノ商品ガ商品数量ノ一
 万分ノ一トカ $\frac{1}{10000}$ デアルト云フハ不可能デナケレバナラス。ソコデ商品数量
 ガ別ヘバ重量トシテ何平方キログラム或ハカロリートシテ何處カロリート統一
 的ナ数量的表現ガ与ヘラレテ始メテ細々ノ商品ハカカル量サトシテ $\frac{1}{100}$ カカル
 カロリートシテ $\frac{1}{1000}$ ト云ヘルノデアル。然シ今問題ノ場合元ヨリ商品数量ノ数
 量的表現ノ内容ガ重サヤ、カロリーノ如キ物理的、化学的ナ其ノ他ノ自然の性
 質デナイヲハ云フ迄モナイ。ソレハ商品ノ交換価値デ有ルヲハ明デ有ル。所デ
dimmed ハ此ノ商品価値ノ測定ハ如何ニシテ行ハレルカト云フ問題ニ対シ既ニ
 商品ノ交換価値ノ測定ハ行ハレタヲ前提トシテ答ヘテ居ルヲニナル。
 何故ナラバ商品總量ノ価値トシテノ統一のナ数量的表現ハ細々ノ商品ノ価値
 ノ一定量ノ總和デ有ルカラ。然シ個々ノ商品ノ価値ノ測定ハ恰モ重量トシテノ
 商品ノ總量ガ分銅ノ一定重量ヲ共通尺度トシテ居ル如ク、其レ自ラ価値ヲ持ツ
 テ居ル一ツノ共通ノ測定手段、価値ノ一般的表现ノ材料ガ存在セネバナラナイ。
 何故ナラ一ツノ商品ノ価値表現ハ他ノ種々ナル商品ニ依ツテ其ノ大々使用価

値ノ異ツタ量ニ依ツテハ表ハサレルガ然シ一ツノ統一の数量的表現トナル
 依ナ一ツノ商品ノ統一のナ価値表現ハ一般的一価値表現ノ材料トシテノ商品ガ
 存在シナケレバナラナイカラ凡テ此ノ価値トシテノ商品總量Aノ中ニ既ニ貨幣
 總量Bガ表現サレテ居ルノデアル。AガBト相応ズル物デアルヲハ云フ迄モナ
 イノデアルト、免ニ前 *dimmed* ノ此ノ企テハ必ズシモ直チニ貨幣ノ価値尺度ノ
 機能が貨幣自ラ価値デ有ラズバナラナイヲ否定スル物デハナイ、ソレハ單ニ
 一ツノ可能性ヲ考ヘタニ過ぎナイ、貨幣論上各自論ノ特徴ハ更ニ積極的ニ之等
 ヲ否定スルニアル。

貨幣ガ成立スレバ既ニ述ベタ依ニ其ノ価値尺度ノ作用ニ依リ一商品ノ価値ヲ
 金 *gold* = 依リテ表現スルヲ。例ヘバX商品ニY金ハ直チニ其ノ商品価値ノ社会
 的ナ表現乃チ貨幣形態デアツテ我々ハ之ヲ価値ト呼ブ。從ツテ諸商品ハ現實ニ
 貨幣金ニ転形サレヌ中カラ觀念的ニ金ニ因縁セシメテ貨幣形態價格ガ与ヘラレ
 ル。之ヨリ、カクノ如ク諸商品ガ觀念的ニ價格ヲ与ヘラレタカト云ツテ現實ニ
 必ズ其ノ價格ニ於イテ實現サレルトハ限ラナイ。其レハ云ハバ價格可能性ニ他

ナラナイ。交換ノ競争ヲ通ジテ始メテ其ノ成否ガ決定サレル。觀念的ニ価格ガ表ハサレル為ニハ現貨ニ金ノ一分子モ必要トシナイ。其レヲ外面的ニ表ス為ニハ唯此ノ商品ノ価格如何デ有ルカト口答テ代辨スルカ正札ヲカケレバ足りル。此ノ限リニ於イテ貨幣ハ純粹ニ觀念的ニ作用スルガ併シ共レ自ラ一定ノ貨幣商品ニ或ハ銀ノ物的存在。換言スレバ抽象的ノ一般的人間労働ノ独立ナル存在ト結ビ付イテ居ル故ニ金ガ貨幣デアル場合ト。銀ガ貨幣デアル場合トハ同一ナル商品、例ヘバ茶ノ価格表現ノ内容ハ全ク異ルノデアル。此ノ觀念的価格尺度其ノ中ニ硬貨ガ含まレテ居ルト云ハレル所以デ有ル。從ツテ同一ノ社会ニ於テハ金ト銀トガ同時ニ価値尺度トシテ作用スルナラバ其ノ社会ノ凡テノ商品ハ同時ニニツノ異ツタ価格表現金価格ト銀価格トヲ持チ、ソレハ互ニ相排斥スル。此ノ混乱ヲ防グ為ニ營テ良ク行ハレタ株ニ金銀ノ交換比例、乃チ此価格ヲ例ヘバ金ニ対スル銀一五ノ割合ニ決定スルヲハ此ノ交換比例ニ因スル限り金ト銀トノ區別ヲ取除イテ銀ヲ金ノ何分ノ一カノ価値ヲ表現スル材料ヲラシムルヲアルガ併シ金ト銀トハ全ク快用価値ヲ異ニシ、從ツテ又其ノ生産方法モ全ク異ルカラ

法律ノ力ヲ以テ金銀ノ価値其ノ物ノ変動ヲ防止スルヲハ出来ナイ。從ツテ形式的価値ニ対シテ實質的価値が変動スレバ其ノ度毎ニ何レカノ貨幣商品ガ急ニ高ク評価サレ過ギルヲトナリ他方ノ余リニ低ク評価サレ過ギタ貨幣商品ニ或ハ銀ハ最早貨幣トシテバ無イ。地金トシテノミ取扱ハレ他方ノ貨幣商品ノミカ貨幣トシテ価値尺度トシテ作用スル。之完全ナル複本位制ガ不可能デアリ又完全ナル複本位制ハ交替本位制デアルト云ハレル所以デアリ。

今ヤ商品A、B、C等ノ価値ハ価値尺度ノ成立ニ依ツテ總テ金ニ等シク單ニ金ノ量的ニ異ツタ大キサトシテ表ハレル。斯クノ如クナレバ互ニgoldノ大キサトシテ相互ニ比較サレ得ルガ故ニ何等カ金ノ或一定量ヲ計算單位トスレバ其等ノ商品ノ価値量統一的ニ表示スルヲが出来ル。此ノ計算單位ハ更ニ分割サレ或ハ倍加サレテ大小ノ価値量ノ表現ニ適合セシメラレテ居ル。例ヘバ我國ニ於テ金ハ価値ノ尺度デ有リ金ノ輸出禁止前迄ハ金ノ一定量、純金ニ分ガ価格ノ本位デ有ツテ円ト呼バレ其ノ百分ノ一ガ銀ト呼バレタ。

英國ニ於テハ同じク金ガ価値ノ尺度デアリ、一九三一年九月所謂金本位停止

造ハ金（純金八十二分ノ十一）三ニ四四瓦ガ細格ノ本位封及デアリ其ノ二十分
ノ一ガ志ニ百九十分ノ一ガ Penny ト呼バレタ

米國ニ於テモ夫張金カ細値尺度デアリ金ハ千分ノ九百ニ五ハグレ
ンガ細格ノ本位弗テ有ツテ其ノ百分ノ一ガ仙デアル

元來細格本位ノ名称ハ貴金屬ガ貨幣商品トシテ固定シテ以來本米金屬ノ重量
單位ノ往來的名称デアツタ別ハ英幣ノ Pound ハ重量ヲ示ス最モ古イ

Latin Ponderus カラ出テムノ *Rime* 伊ノ *Rime* 衡及重量ヲ意味スル *libra*

カラ出テ居ル然シ此ノ重量名ハ其後種々ノ原因ノ為ニ別ヘバ

(1) 卷連程度ノ低イ民族ニ外國貨幣ガ輸入サレ國內ノ重量名ト異リ外國貨幣ノ名
線ガ残ルトカ

(2) 高ノ卷連ニ依ツテ低級ナ貴金屬ガヨリ高級ナ貴金屬ニ依ツテ別ヘバ銅ガ銀ニ
依リ銀ガ金ニ依リ細値尺度タル機能ヲ奪ハレ只前ノ金屬ノ重量名大ガ残ルト
カ

(3) 中世ノ封建諸候ニ依ツテ數百年間ニ涉リ継続的ニ行ハレタ貨幣ノ改悪ニ依ツ

テ現與ノ貨幣ノ重量名タルニ最早適當シナイ重量名ガ依然トシテ細格本位ノ
名称トシテ止マルトカ

等々種々ノ原因ニ依ツテ其ノ本源的ナ重量名称カラ分商シタ、コウ云フ分商ハ
始メハ慣習的デアアルガ為ニハ法律ニ依テ確認サレルカラ貨幣名ハ恰モ人ノ姓名
ガ其ノ人ニ付イテ何ノモ語ラナイト同様ニ最早其レガ現與ニ代表シテ居ル金屬
ノ重量ノ單位名トハ直接ニ同等ノ關係モ示サナクナリ、其レニ伴ツテ細値關係
ノ痕跡ハ全ク消ヘ失セテ貨幣名ハ單ニ貨幣固有ノ重量名トナツタ、之計算貨幣
(Money of account) トシテハ貨幣ハ其レ自ラ準抽象的名目的ナ物ヲ有ツテ何
等細値ト云フガ如キ實體的基礎ヲ必要トシナイト云フ思想ヲ生ジタ所以デアル、

然シ貨幣名ハ既ニ述ベタ如ク本質的ニハ單ニ貨幣ニ固有ナ重量名ニ過ギナイ
多少逆説的表現ヲ用フルナラバ計算貨幣トシテノ貨幣コソ最モ完全ナル重量ヲ
持ツタ貨幣デアアル、蓋シ計算貨幣トシテ作用スル為ニハ金ノ一分子モ必要トシ
ナイカラ此ノ與ニ於イテ流通手段トシテノ貨幣ガ嚴密ニハ流通ノ一步毎ニ多カ
レ少カレ磨損スルトハ異リ常ニ完全ナル一定重量トシテ作用スル、然シ乍ラ細

値尺度ノ金ノ一定量ノ貨幣名ハ通常其ノ重量名トハ異ツテ居ル為ニ例ヘバ一匁ノ金ハ五円、標準金一オンスハ三封十七志十片ノ二分ノ一ト云フ風ニ表現サレルト可能デ有ル。之所謂鑄貨価格 (Mint Price) デアルガ此ノ下ハ他ノ諸商品ノ価値ハ金ノ一定量ニ依ツテ表現サレ金ハ其レ自身ノ材料ヲ評価サレ國家力ヲ一定ノ価格ヲ与ヘラレル物デアルトスル思想 (例ヘバ Rm. app. 流ノ貨幣國家學說 (Stantliche Theorie des Geldes) ヲ生ンダ、例ヘバ Rm. app. ニ從フト貨幣素材トシテノ金ノ一定量ガ一定価格ノ支払手段トシテ作用スルノハ國家ノ材料及ビ下位ノ確定的ナ限界ヲ規定スル行政的ナ活動ヲ必要トスルト、併シ事實ハ國家ノ只單ニ貨幣ノ計算名ヲ制定シ或ハ之ヲ変更シ得ルニ過ギナイ、故ニ貨幣カ國境ヲ超エテ一度世界市場ニ入ルト貨幣名ハ必然的ニ國民的衣裳ヲ脱イデ本位ノ重量名ニ歸ヘラナケレバナライ、

最後ニ注意ス可キ下ハ貨幣ハ価値尺度トシテノ機能シツツ有ル場合、価格ノ本位トシテ機能シツツ、有ル場合トテハ全ク眞異ツタニツノ機能ヲ深シツツ、有ル

ノテ有リ貨幣金モ価値ノ變動ガ貨幣金ノ此ノニツノ機能ニ對シテ何等ノ障害ニモナラナイト云フ下テ有ル、先ヅ前ニ付イテハ価値尺度トシテハ貨幣ハ諸商品ノ価値ヲ衡的ニ平等ノ量的ニ比較シ得ル同ジ大キサノ名称トシテ表ハス為ニ乃々商品価値ヲ社会的ニ妥當ニ表現形態トシテ貨幣形態乃チ價格形態ヲ与ヘルニ役立テ之ニ反シテ價格ノ本位トシテハ貨幣ハカカル貨幣形態或ハ價格形態ノ商品価値ヲ一定量位ニ基イテ数量的ニ表現スル下ニ役立ツノデアル、乃チ価値ノ尺度トシテノ金ハ其レ自ラ価値トシテ同ジク価値トシテノ他ノ諸商品ノ一般の等価形態トシテ役立テ價格本位トシテノ金ハ一定重量トシテ金ノ種々量ノ計算量位トシテ役立ツノデアル、

次ニ金ノ価値ガ騰貴シテモ価値尺度トシテハ諸商品ノ価値ノ貨幣的表現乃チ價格ハ一故ニ或ハヨリ低キ或ハヨリ高キ表現ヲ其ヘラレル下テ諸商品ノ相對的ナ価値關係ハ何等ノ変更モナイ、從ツテ商品価値ニ統一的ナ数量的表現ヲ其ヘル価値尺度機能其ノ物ニ何等ノ障害モ無イ、又價格ノ本位トシテハ金ノ価値ハ騰貴シテモ下落シテモ本位ノ指示スル金ノ重量單位ニ変化ガナイナラバ百円ハ

依然トシテ五円ノ二十倍デアリ、円ハ幾ノ百倍デアルヲニ変化ハナク從ツテ種
種ナル大キサトシテノ商品価値ノ貨幣形態ノ数量的表現ヲ与ヘル機能ニ何等ノ
支障モナイ。

第二節 流通手段 (Circulating Medium)
means of circulation

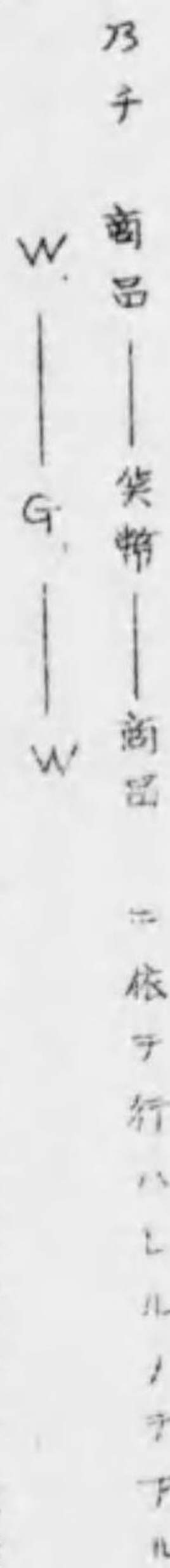
貨幣ハ商品流通ノ売買者トシテハ流通手段ノ機能ヲ持ツ。併シ此処ニ所謂商
品流通トハ何カ、ソレハ簡單ニ云フト貨幣ノ成立ヲ通シテ表ハレタ商品交換ノ
新ナル形態デアリ、貨幣ノ流通手段トシテノ機能ヲ理解スル為ニハ我々ハ先ス
商品流通ハ如何ナルモノデアルカヲ見ナケレバナラナイ。

一、商品流通

貨幣ノ成立ハ商品ニ内在スル使用価値ト価値ノ外面化、換言スレバ商品ノ
商品及び貨幣ヘノ二重化ヲ意味スル。其ノ貨幣ノ成立ニ依ツテ商品ノ全面的
交換が含ム価値ハ一応解決サレル。乃今ヤ商品ハ商品カラ貨幣ヘ、貨幣カ

ラ商品ヘニ定ノ形態変化ヲ遂ゲルニヨリテ互ニ全面的ニ置換ヘラレルノデア
ル。此ノ一ヲモウ少シ詳シク説明シヨウ。乃今商品ノ全面的置換ヘニ當ツテ
ハ今ヤ幣ニ一方ノ極ニハ商品が存在シ他方ノ極ニハ貨幣商品が立ツテ居ル。
此ノ二ツノ物ハ其レ自体トシテハ何レモ使用価値ト価値ノ統一物乃今商品テ
有ルガ一方ノ商品ハ現実ニハ使用価値デアツテ其ノ交換価値ハ価格ニ於テ意
念的ニ他方ノ貨幣ニ依テ表ハサレテ居リ、他方ノ貨幣商品ハ現実ニハ、ソレ
自体交換価値ノ価値ヲ独立ナク現デアツテ其ノ使用価値ハ單ニ觀念的ニ一方
ノ商品ニ於テ示サレテ居ルニ過ギナイ。此ノ二ツノ商品及び貨幣ハ本来商品
ニ内在スル使用価値ト価値ノ外面化シタ物デアルカラ互ニ対立シテ居ルガ同
時ニ互ニ離れ去ルヲ、出来ナイ關係ニ立ツテ居ル。今其ノ商品ト貨幣トガ互
ニ置換ルヲハ例ヘバ商品帽子が帽子ト云フ使用価値ヲ又ギ捨テテ既ニ価格ニ
於テ觀念的ニ与ヘラレタ貨幣ニ現実ニ交換形式ルコトデアリ。併シ貨幣トシ
テハ金ハ切ルヲモウクルヲ、出来ナイ商品価値ノ独立ナ形態デアルガ又ソレ
故ニソレハ如何ナル商品トモ交換が可能ナリ、乃今帽子ノ形シタ貨幣金

ハ最早ソレト等価ノ任意ノ商品例ヘバ米ト云フ使用価値ニ現実ニ転形式ル、之ヲ結果カラ見レバ單ニ商品ト商品、帽子ト米トガ置換ヘラレタノデアルガソレハ直接商品ト商品トガ置換ヘラレル物々交換トハ異リ商品ノ貨幣ヘノ転形式貨幣ノ商品ヘノ転形式相對立シタ、而カモ互ニ相補フ所ノニ重ノ形態變化ニ依テ行ハレタノデアル、乃チ商品ノ交換過程ハ次ノ椽ナ一列ノ形態變化ヲ通シテ、



之ハ商品所有者ノ行為トシテ見レバ商品ト貨幣トノ交換販売ト貨幣ト商品トノ交換、購買トノニツノ行為ヲ統一シ購買セシガ為ノ販売ト云フコトが出来ル、

ソコデ問題ハ W — G — Wニ依テ示サレル形態變化デアル、先ツオ一ノ転形式過程 W — Gニ於テ商品ト貨幣金トガ置換ハルト、是ハ元ヨリ或ル商品ト金トノ物々交換デアリ、從テ商品ト金トガ此ノ交換過程ノ内部ニ於テ始メテソ

ノ總体的ナ価値関係ヲ見出ス訳デハナイ、此ノ販売過程ニ於テハ商品ハ既ニ此ノ過程ニ入ルニ先立ツテ予メソノ価格ニ於テ觀念的ニ予想サレタ所ノ一般的ナ価値形態乃チ貨幣ニ現実ニ転形式ルニ過ギズ他方ニ於テ貨幣ハ既ニ商品ノ価格ハ決定サレルニ際シテ価値尺度トシテ作用シタノデアルガ今此ノ過程ニ於テ現実ノ貨幣金ニ転形式ルニ過ギナイ、

(註) 元ヨリ最初金ハ生産地ニ於テ他ノ商品ト同ジク單ニ商品トシテ商品市場ニ入り等価値ノ他ノ商品ト交換サレルノデアルガ一度交換サレタ後ニハ金ハ何時デモ實現サレタ商品価格ヲ示ス物デ其ノ場合金自身ノ価値ハ既ニ与ハラレテ居ルノデアル、

市ニノ転形式過程 G — Wハ此ニ述ベタ販売ニ於テ實現サレタ商品ノ価値乃チ貨幣ガ価値ノ独立ナ存在形態トシテハ凡ソル商品ニ對シテ直接ニ交換可能デアルト云フ性質ニ基イテ既ニ此ノ購買ノ過程ニ入ルニ當リテ、予想サレタ使用価値ノ特殊形態ニ現実ニ再転形式シテ行ク過程デ有ル、彼ノ諸商品ノ価格表ハ此ノ意味ニ於テ貨幣ガ自ら転形式得ル使用価値ノ種類ヲ示スト同時ニ其ノ

貨幣が転形シ得ル量的限界ヲ示ス物デアリ、

所デ此処ニ注意ス可キハ W_1 販賣ノ商品所有者ニトツテ W_2 販賣ノ商品所有者ニトツテ W_3 購買デアツテ彼ノ既ニ販賣シタ商品ノ亦ニノ転形過程ニ当リ同様に G_1 購買ヲ貨幣所有者ニトツテ購買デア
ルガ商品ノ所有者ニトツテハ W_1 販賣ノ商品ノ亦一ノ転形過程ニ他ナ
ラナイト云フデアリ、

其処デ一ツノ商品転形ノ全体ヲ觀察スルト其ノ最も簡單ナ場合ニ四ツノ極
ト三人ノ人物トが存在スルヲ見出サレル。ソシテ W_1 販賣ト G_1 購買
トノニツノ相対立スル商品転形ガ互ニ対抗シテラ、又互ニ補足シアツテ居ル、
先ツ商品ハ其ノ使用価値ノ形態ヲ脱イテ価値ノ独立ナ貨幣ニ転形シ次イ
テ亦ニ段ニ於テ其ノ一時的等価形態カラ脱シテ使用価値トシテノ内容トシテ
ノ他ノ商品ニ再転形シテ其ノ循環ヲ完了スル、併シテ此ノ一組ノ商品ノ循
環ハ同時ニ其ノ亦一段階ニ於テハ他ノ商品 W_3 ノ循環過程ノ後半ノ転形過程
(W_3 | G_1 | W_1) ヲ媒介シテ居リ亦ニ段ニ於テハ更ニ商品 W_2 ノ循環過程ノ前

半ノ転形過程 (W_2 | G_1 | W_4) ヲ媒介シテ居ル、從テ各商品ノ形態變化ノ系
列ト必然的ニ交錯シ此ノ交錯ナクシテハ其ノ循環ハ行ハレ得ナイヲ解ル、
最も簡單ナ場合ニ於テモ既ニ右ニ述べタ如クデ有ルガ商品生産ガ飛躍スルニ
伴シテ商品生産者ノ生産物ハ一方デハ益々単純化スルニ及シ、他方其ノ欲望
ハ益々複雑化シテ来ルカラ商品生産者ハ必然ニ專ラ單一ナル商品ヲ多量ニ生
産シ、之ヲ販賣シテ得タ貨幣ハ多面的ナル欲望充足ノ為ニ種々ノ購買ヲ分割
シテ用フル必要ニ迫ラレル、從テ商品転形ノ前半及ビ後半ノ過程ハ非常ニ複
雜トナリ諸商品ノ転形過程ノ交錯ハ益々繁クナラザルヲ得ナイ、此ノ商品転
形ノ連鎖アツタ總体ハ乃今商品流通デアリ、

(註) (之ト因聯シテ注意ス可キ問題ハ商品流通ト從來ノ物々交換トハ如何ニ
異ルカト云フデアリ、物々交換ニ於テハ甲ハ自己ノ生産物Aノ一定量
ト交換ニテノ生産物Bノ一定量ヲ獲得シ同様に乙モ亦自己ノ生産物Bノ
一定量ヲ提供シテ甲ノ生産物Aノ一定量ヲ獲得シ、甲、乙ノ間ニ於テ一
方ノ提供ハ同時ニ他方ノ獲得ヲ伴フコトヲ原則トスルガ故ニ例ヘバ甲ノ

商品Aハ乙ノ欲望充足ニ適シ乙ノ商品Bハ甲ノ欲望充足ニ適スルコト、
 甲ガBヲ得ルト同時ニ乙ガAヲ獲得スルコト、甲ノBヲ獲得スル場所ハ又
 乙ガAヲ獲得スル場所デナケレバナラヌト必然ニ個人的時間的及び
 場所的制限ヲ蒙ラザルヲ得ナイ、而ルニ商品流通ニ於テハ商品ハ常ニ一
 担其ノ対立物貨幣ニ取形シ、貨幣カラ更ニ商品ニ取形スルガ故ニ物々交
 換ニ於ケル自己ノ生産物ノ提供ト他人ノ生産物ノ獲得トノ直接ノ同自性
 (identity)ハ販売ト購買トノ対立ニ分列シ從ツテ此近ニハ物々交換ヲ
 個人的時間的、場所的制限ハ存在シ得ナイ、例ヘバ商品流通ニ於テ商品
 帽子所有者デアル甲ハ商品米ヲ獲得スルノハ直接自己ノ商品帽子ヲ商品
 米ノ所有者ニ乙ニ提供スルコトニ依テバハナイ、甲ハ一担貨幣所有者丙ニ
 商品帽子ヲ販売シ、ソカスルコトニ依テ貨幣ヲ乙ニ提供シテ其ノ商品
 米ヲ購買スルノデアル、從テ商品米ノ所有者ハ乙ガ甲ノ商品帽子ヲ獲得
 シナイバカリデナク其ノ帽子ハ何人ニ歸屬シタカ全然預リ知らナイシヌ
 知ル必要ハナイ之ハ恰モ甲ガ自分ノ商品帽子ト丙ノ商品米トガ交換サレ

タノヲ全然預リ知らナイノト同様デアル、殊シ甲ガ其ノ商品帽子ヲ売り
 得タノハ購買者丙ガ既ニ其ノ商品物ヲ何人カニ売ツテ居タカラデアリ、又
 乙ガ其ノ商品米ヲ甲ニ売り得タノハ購買者甲ハ既ニ其ノ商品帽子ヲ丙ニ
 売ツテ居タカラデアリ、ダカラ商品流通ニ於テハ最早物々交換ニ於ケル
 個人的、時間的、場所的制限ハ存在シナイカ商品所有者ガ其ノ商品ヲ売
 リ得ル為ニハ他ノ商品所有者ガ彼ノ商品ヲ売ツテ他人ノ商品ヲ買ヒ得ル
 状態ニアラネバナラスト云フ商品生産者トシテハ個人的ニモ社会的ニモ
 直接支配スル統御スルコトモ出来ナイ、社会的ナル自然の制限レガ存在ス
 ル、而ルニ商品ヲ売ツタカラト云フテ買ハネバナラヌト云フ強制ハナイ、
 之即チ資本主義的商品生産ニ固有ナ恐慌ト云フ、商品ノ一般の取巻停滯
 ノ可能性ガ既ニ單純商品生産ニ於テモ可能ナル所以デアリ、

二、貨幣流通

上ニ述ベタ商品流通ノ結果ヲ見ルニ、ソレハ既ニ述ベタ様ニ社会的ナ物與

代謝W—Wニ歸着スル、乃チ商品ト商品トガ交換サレルノデアツテ此ノ圖

程ニ於イテ商品が貨幣トナリ貨幣が商品トナルヲ換言スレバW-I-G-I-Wノ形態変化ヲ遂ゲルハ只商品Aが商品Bニ轉形シテ社会的ナ物價代謝ヲ遂ゲル為ノ媒介作用ニ過ギナイ。尤モ同時ニ其ノ形体變形ノ媒介ナクシテハ最早商品ト商品トノ代替ハ不可能ナリテアルガ、カクシテ貨幣ハ此ノ商品ノ流通過程ニ依リテ特長付ケラレタ一定ノ作用形態ヲ持ツ、我々ハ之ヲ名付ケテ貨幣ノ流通手段ノ機能ト云フ。此ノ流通手段ト云フ商品流通ニ依テ貨幣ニ対シ直接ニ与ヘラレル運動形態ノ特長ハソレガ、出發点カラ絶ヘズ遠ザカルヲ一ツノ商品所有者ノ手カラ他ノ商品所有者ノ手ニ流レテ有ルヲ流通ニ於ケル絶ヘ固ナキ彷徨シテ有ル。此レ貨幣が日本語ヲ通俗ニおあしト呼バレ英語デ Currency ト呼バレル所以デアロウ、之ラモ少シ詳シク説明スルナラバ商品ノ流通W-I-G-I-Wニ於テ商品ハ一定價值ノ商品トシテ出發シテ再ビ同一價值ノ他ノ商品トシテ出發点ニ帰着シ一ツノ循環運動ヲスルガ、此ノ商品ノ循環運動ハ既ニ述マタ如ク販賣及ビ購買ヲ經テ始メテ遂ゲラレルノデアルカラ商品が販賣者ノ手カラ買手ノ手ニ移ルノト對應シテ貨幣ハ商品ノ價格ヲ完

現スルヲニ依リ購買者ノ手ヲ放レテ販賣者ノ手ニ移リ商品ト及対ノ方向ニ流シル、而カモ商品ハ販賣サレルニシテ購買サレルニシテ貨幣トノ只一回ノ位置轉換ニ依テ流通ヲ去ツテ消費ニ入ル、ニ反シテ貨幣ハ其ノ商品ノ價格ヲ實現スルヲニ依テ商品ノ位置ニトツテ代ハリ、常ニ商品所有者ノ手カラ商品所有者ノ手ニ移リ商品流通ガ更新サレルニ伴シテ轉々トシテ止マル所ヲ知らズ、元ヨリ織物業者ガ綿布ヲ売ツテ得タ貨幣ヲ米ヲ買ヒ、而ル後又綿布ヲ売ルナラバー担手放サレタ貨幣ハ再ビ彼ノ手ニ歸ツテ米ルカニ見ユルガ此ノ貨幣ハ最初ノ綿布ノ流通トハ關係ナク貨幣ノ復歸ハ新ナル綿布ニ対シ前ト同一ノ流通ガ及覆サレルヲニ依テノミ可能デアル、從テ此ノ場合モ此ノ貨幣ヲ以テ米ヲ買フナラバ其ノ貨幣ガ再ビ轉々流通シ始メルトハ恰モ前ノ場合ト全ク同一デアル、カクテ今ヤ商品ノ流通過程ハ一宛貨幣ノ流通過程トシテ表ハレソレハ商品ト貨幣ノ双方向的ナ形態運動、換言スレバニ重ノ形体變化カラ生ズル時ハ旅ヒ隱サレ商品運動ノ連続性ハ貨幣ノ側ニノミ見ラレ貨幣ノ運動ハ商

品流通ノ表現ニ過ギザルニ拘ラズ逆ニ商品流通ガ貨幣運動ノ結果ニ過ギザル物トシテ表ハレル、前述ノ流通ニ於イテハ販売ニ於イテモ購買ニ於イテモ商品ト貨幣トハ常ニ同一ノ關係ニ於イテ対立スル、其処テ貨幣所有者ノ側カラスレバ販賣モ常ニ購買デアリ、從テ流通手段ハ又購買手段トシテ表ハレル、此ノ下ハ商品轉形ノ対立的ナ段階ニ於ケル $W \rightarrow G$ 、 $G \rightarrow W$ ノ貨幣ノ異ツタ規定ヲ曖昧ナラシメ貨幣流通ガ元來商品流通ノ一要因デ有リ從屬的運動デ有ルヲ理解シ難クスル

流通手段トシテノ貨幣ハ流通手段トシテ機能スル限リ此ノ機能ニ固有ナ形式規定ヲ取得スル、以下此ノ形式規定ニ付イテ説明シヨウ

(1) 商品ノ流通過程ノ出発点ハ商品ノ存在スルダケ無限ニ存在シ、ソレニ應ジテ帰着点モ無限ニ存在スル、貨幣が大ナリ、小ナリーツノ循環運動ヲ行フト云フコトハ少ソトモ今向題ノ單純ナル貨幣流通ニトツテハ全ク偶然デアル、從テ貨幣ノ循環ニ付イテハ之ヲ支配シ測定シ計算スルコトハ出來ナイ所テ後ニ述ベル如ク貨幣流通ノヨリ高度ナル媒介形態、例へバ銀行券ノ流

通ニ於イテハ貨幣支出ノ條件ハ又其ノ復歸ノ條件ヲ含ンデ居ルノデアアル、併シ現実ノ循環運動ガ總へズ貨幣流通ニ表ハレル場合ハ其ノ運動ハヨリ深い生産過程ノ反射ニ他ナラナイ、乃チヨリ高キ商品生産ノ段階ノ上ニ於イテ始メテ見エル所デ有ル、例へバ工場主ガ週末金曜日ニ彼ノ銀行家カラ貨幣ヲ受取り之ヲ土曜日ニ労働者ニ支拂フトスレバ労働者ハ其ノ貨幣ノ大部分ヲ直チニ小賣商人其ノ他ニ支拂ヒ小賣商人ハ月曜日ニ銀行家ニ返ヘスノテ有ル

(2) 一國內ニハ毎日無数ノ同時的ナ從テ空間的ニ併走スルガ一面的ナ商品交換、換言スレバ販賣或ハ購買ガ行ハレテ居ル、ソレガ販賣デアツテモ購買デアツテモ商品所有者ハ常ニ販賣者トシテ表レ貨幣所有者ハ常ニ購買者トシテ表ハレ商品ト貨幣トガ相對立スルガ故ニ全商品ノ流通ノ為ニ必要ナル流通手段ノ數量ニ付イテハ次ノ如キ原則ガアテハマル、乃チ価値尺度トシテノ金ノ価値ガ与ヘラレテ居ルナラバ一定ノ時矣ニ於イテ商品流通ノ為ニ必要ナル流通手段ノ數量ハ實現サルベキ商品ノ価格ト商品ノ數量ニ依テ換

言スレバ商品ノ価格總額ニ依テ定マル。故ニ流通商品ノ数量ハ価格ノ騰貴ノ割合ヨリモ、ヨリ大ナル割合ニ於イテ減少スル時ハ必要ナル流通手段ノ数量ハ価格ノ騰貴ニモ拘ラズ減少スル。反対ニ商品量ハ減少シテモ価格ノ騰貴ノ割合ガヨリ大ナレバ流通手段ノ数量ハ増加スル。若シ商品ノ価格總額ガ与ヘラレテル場合ハ流通手段ノ分量ハ金ソレ自身ノ価値ニ依テ定マル。ダカラ金ノ価値、乃チ金ノ再生産ノ為ニ社会的ニ必要ナル労働時間ガ増加シ或ハ減少スルニ反比例シテ商品ノ価格總額ガ下落シ或ハ騰貴シ流通手段ノ分量ハ之ニ適應シテ増減スル。此ノ場合流通手段ノ数量ノ変動ハ貨幣ノ物カラ発生スルガ併シ、ソレハ流通手段トシテ貨幣ノ機能カラテハナク、価値尺度トシテノ其ノ機能カラテ有ル。諸商品ノ価格ハ先ズ貨幣ノ価値ニ反比例シテ変動シ、而ル後流通手段ノ数量ガ諸商品ノ価格ニ正比例シテ変動スルノデアル。之ト同ジ現象ハ金ノ価値ハ減ジナイデモヨリ低位ノ銀ガ金ノ価値尺度ノ機能ニ変ハル場合或ハ銀ノ価値ハ増加シナイデモ、ヨリ高価ノ金ガ銀ニ代ツテ価値尺度トシテ機能スル時前ノ場合ニハ以前ノ金ヨリ

五〇

多量ノ銀ガ流通シ後ノ場合ニハ以前ノ銀ヨリヨリ少量ノ金ガ流通スル、併シ現象ノミニトラハレテ居ルナラバ恰モヨリ多量ノ金銀ガ流通手段トシテ機能スルニ至ツタカラ商品ノ価格ガ騰貴シ或ハヨリ少量ノ金銀ノ流通ガ商品價格ヲ低落セシメタカノ様ニ見ヘル。後ニ説明スル如ク所謂貨幣數量説ハ之ヲ其ノ概理デアルト主張スル物デ有ル。

(3) 或ル与ヘラレタ期間内ニ於ケル一回ノ流通過程ニハ一方ニハ多数ノ分裂シタ同時的ニ且ツ空間的ニ並ビ行ハルル販売乃至購買乃チ部分的ナ形体変化ガ含まレテ居リ、ソシテカ、ル部分的形態変化ニ於テハ同一ノ貨幣ノ価値カ何レモ只一度ダケ位置ヲ轉換シ又ハ一回ダケノ流通ヲ行フニ止マルカ。他方ニ於テハ互ニ独立シタ又互ニ連鎖シ合ツタ多カレ少カレ幾ツカノ形態変化ヲ含ンダ多数ノ変態系列ガ存在シ、ソコデハ同一ノ貨幣個片ガ夫々何回カノ流通ヲ行フノデアル。一定期間内ニ同一ノ貨幣個片ガ平均的ニ種々ノ商品ノ價格ヲ実現スル度数、換言スレバ一定期間内ニ諸商品ノ形態変化ガ時間的ニ鏈起シ得ル平均度数、之乃チ一般ニ所謂貨幣ノ流通速度デアル。

五一

(Velocity of circulation) 同一ノ五円金貨が同じニ各々五円ノ価格ヲ有
 スル商品ヲ十回購買シ從テ十回ダケ其ノ所有者ヲ変更スル物トスレバ此ノ
 五円金貨ハ一日一回シカ流通シナイ。五円金貨十個ト丁度同じ働キヲスル
 ノテ有ル。カクテ貨幣ノ流通速度ハ貨幣ノ分量ノ代ハリヲスル V が出來ル
 ノテ有ル。從ツテ一定期間ニ於ケル必要ナル流通手段ノ數量ハ同時的ニ
 且ツ空間的ニ併行シテ流通スル諸商品ノ價格總額及ビ貨幣ノ流通速度ニ依
 テ定マル。換言スレバ $P \times Q$ ハ其ノ商品ノ流通數量ヲ表ストスルト上ニ述ベ
 等シイ。今 M ハ同一名稱ノ貨幣個片ノ數量ヲ表シ V ハ其ノ流通速度ヲ表シ
 P ハ流通商品ノ價格及ビ Q ハ其ノ商品ノ流通數量ヲ表ストスルト上ニ述ベ
 タ V ハ $\frac{P \times Q}{M}$ ナル方程式ヲ表ス V が出來ル。故ニ流通商品ノ價格ノ
 總額ハ騰貴シテモ其ノ騰貴ノ割合ガ貨幣ノ流通速度ノ増加ノ割合ヨリモ少
 ナル所ハ流通手段ノ數量ハ減少スルデアロウ。ソレト反対ニ貨幣ノ流通速
 度ハ流通商品ノ總價格ノ下落ヨリモ大ナル割合ヲ減少スレバ流通手段ノ數
 量ハ價格ノ下落ニモ拘ハラズ増加スルデアロウ。経済学批判ニ曰ク、流通

手段ノ分量が増加スレバ物價が一般的ニ下落シ流通手段ノ分量が減少スレ
 バ物價が一般的ニ騰貴スルハ商品價格ノ P 史ニ於テ最モ確メラレタ現象ノ
 一ツデアルト。併シ何故ニ物價水準が騰貴スルト同時ニ貨幣ノ流通速度ガ
 ヨリ大ナル割合ニ於イテ増進スルカ。又何故ニ反対ノ場合ニハ逆ニナルト
 云フ V ハ今我々が問題ニシテ居ル單純ナ商品流通ノ範圍ヲハ答へ得ラレナ
 イ所デアツテ之ヲ説明スル為ニハ資本主義的流通ノ範圍ニ立入ラナケレバ
 ナラナイ。今之ニ立入ル暇ハナイガ信用ガ支配的ナ時代ニ於イテハ所謂景
 氣ノ上昇期ニ於イテハ物價水準ノ騰貴ニ比較シテ貨幣ノ流通速度ガ如何ニ
 ヨリ急速ニ増進スルカ。又景氣ノ下降期ニハ物價水準ノ低落ニ比較シテ貨
 幣ノ流通速度ガ如何ニヨリ急速ニ減退スルカヲ想像スルコトハ必ズシモ困
 難デハナイ。之ヲ簡單ニ説明スレバ信用ノ本質ハ商品ガ販賣サレル T 。乃
 チ商品資本ノ貨幣ヘノ再轉化所謂回流ニ対スル期待ニ有ル。カカル期待ニ
 基イテ屢ニ商品ハ將來ノ或ル一定期日ニ支拂フト云フ約束ニ対シテ販賣サ
 レ銀行ハ又カカル支拂約束。乃チ為替手形ニ対シテ貨幣資本ヲ前貸スル。

而ルニ所謂上昇期ニ於テハ所謂回流カ因滑テアルカラ信用モ亦容易デア
從テ例ヘバ銀行ハ手形割引ニ依テAニ前貸シタニ万四ノ貨幣ガ同ジ価格ノ
商品ノ購買ニ依テAカラBニ移リ更ニ同ジノ商品ノ購買ニ依テBカラCニ
移リCニ依リテ銀行ヘ預金トシテ拂ヒ込マレルトシテ直チニ今度ハ有価
証券担保ニ依テXニ前貸スルヲ躊躇シナイデアロウ。Xハ此ノニ万四ヲ
トツテYカラ商品ヲ購買シYモ又之ヲZカラ商品ヲ購買シZハ之ヲ再ビ銀
行ニ預金シ銀行ハ又之ヲ運用スルトスレバ信用ガナケレバ只A・B・Cノ
間X・Y・Zノ間ニ於イテ夫々独立ニ只ニ回轉スル貨幣ニ万四ハ今ヤ信用
ノ媒介ニ依ツテ四回轉或ハ其レ以上ノ回轉ヲ遂ゲルトナリ。貨幣ノ流通
速度ハ急速ニ増進スルコトナル。之價格ノ上昇期ニモ拘ラス貨幣ノ流通數
量ハ却ツテ減少シ得ル所以デアル。而カモ一度所謂下降期ニ入ルヤ再生産
過程ハ停滞シ所謂回流ハ不確定トナルカラ之ニ應ジテ信用モ萎縮スル。銀
行ハ一度回流シタ貨幣資本ハ容易ニ再ビ前貸シヨウトハシナクアル。從テ
信用ノ連鎖ヲ失ツテ貨幣ノ流通速度ハ急速ニ減退シ始メル。之價格ノ下降

期ニモ拘ラス貨幣ノ流通數量ハ却テ増進シ得ル所以デア
之ヲ要スルニ価値尺度タル金ノ価値ガ与ヘラレ貨幣ノ流通速度ガ前提サ
レルナラバ流通手段ノ分量ハ單純ニ商品ノ價格總額ニ依テ定マル。從ツテ
價格ガ高ク或ハ低イノハ通貨ノ分量ガ多ク或ハ少イカラデア。經濟學批判ニ
ノ分量ノ多ク或ハ少イノハ價格ガ高ク或ハ低イカラデア。經濟學批判ニ
曰ク「之ハ最も重要ナル經濟法則ノ一ツデアツテ *Ricardo* 以後ノイギリ
ス經濟學ノ唯一ノ功績ハ恐ラクハ物價史 (*History of Prices*) ニ於テ此ノ
証明ヲ詳細ニシタコト有ロウ。右ニ述ベタコトハ貨幣ノ流通速度ガ与ヘラレ
テ居リ商品ノ價格總額ガ前提サレルナラバ流通手段ノ分量ハ金自身ノ価値
ニ依リテ定マルト云フコト出末ル

三、通鑄貨及ビ価値章標ヘ流通手段トシテノ機能ニ基ク貨幣形態ノ貨幣金ハ流
通手段トシテノ機能ニ於テハ其ノ機能ニ適應シタ特種ナ形態ヲ採ル
先ツ金屬貨幣ハ鑄貨トナル。始メ金屬貨幣殊ニ金銀ハ其ノ流通ニ際シテ受
換ノ度毎ニ一々純金ガ調バラレ重量ガ計ラレネバナラナカツタ、併シ商品生

産が發達シ普及シテ高品流通ガ愈々松リ繁雜ニナツテ未ルト純金ノ檢定ヤ重量ノ秤量ハ形式化サレ鑄造ニ依テ金屬貨幣ニ一定ノ形状刻印ヲ与ヘ、ソレニ依テ直接ニ其ノ貨幣ノ純金重量ヲ明瞭ナラシムルヲ、乃チ一見シテ鑄貨ノ價格本位トノ關係ヲ明瞭シラシメルヲガ企テラレルニ至ツタ、鑄貨トハ鑄造ニ依テ金屬片ノ形状刻印ガ貨幣ノ計算名、例ヘバ円銀或ハ弗、仙等ガ表示スル金屬ノ重量分ヲ含ンデ患ルヲ示ス物デアアル、故ニ鑄貨制度ニ於テハ必ず鑄貨ノ一定ノ形状、刻印ト共ニソレニ依テ表ハサル可キ一定純金ノ金屬重量ノ價格(計算名)ガ規定サレネバナラヌ、所謂鑄貨價格(Mint Price)ニテアル、丁史上最初ノ貨幣、鑄造トシテ知ラレテ居ルノハ *Lydian* 國王ノ *gigas* (666 B.C.) *Cretans* (568 B.C.) 及 *Argos* 國王ノ *Phaidon* (660 B.C.) 如クデアッタ、併シ先ツ貨幣鑄造ニ着手シタモノハ商業上ノ必要カヲ商人自身金銀細工商及ビ當時相人ノ為ニ寶石、貴金屬等所謂財宝ノ保管ノ役割ヲ果シタ寺院デアッタト云ハレル、從ツテ同一流通部面ニ種々ナル鑄貨ガ流通シ各鑄貨ノ通用ハ又各鑄造者ノ信用ニ依テ大々異ツタ、而モ鑄造技術ガ未熟

ナ為ニ鑄造、磨損乃至盜削ガ甚シク一旦鑄造サレタ貨幣ガ再ビ純金重量ノ測定ヲ必要トシタ、從ツテ貨幣鑄造ガ各地方的權威ニ依ツテ統一サレタノハ比較的後デ有ツタ、カクノ如ク私人ノ鑄造ガ排止サレテ古代、中世ニ於テハ地方的權威マ國王、都市、封建諸侯ノ手ニ移リ金銀ガ國家ノ独占事業ニナツタノハ鑄貨ノ性質上其ノ形状刻印ハ社会的ニ客觀的ナ妥當性ヲ持ツトヲ必要トスル為デアッタ、從テ貨幣ノ計算名ハソウデアアル如ク鑄造貨幣モ亦地方的、政治的性質ヲ持チ從ツテ其ノ流通範圍モ一般的流通(世界市場)ト區別サレル地方的政治的ノ界限内ニ止ル、

貨幣ガ鑄貨ト云フ特殊ノ形態ヲ取ルト云フト自身ハ既ニ述ベタ如ク金屬貨幣ノ流通手段トシテノ機能ノ具体化、流通手段トシテノ機能のナ形態デアアル所テ貨幣ノ流通手段トシテノ機能ハ之又既ニ述ベタ如ク商品ハ互ニ對立的ニシテ且ツ補足的ナニ重ノ形態変化ヲ通シテ互ニ位置ヲ轉換スル為ノ貨幣ノ形態規定デアツテ其ノ性質上流通ニ於ケル貨幣ノ存在ハ価値ノ独立ナ存在形態トシテハ過渡的一時的デアアルニ過ギナイ、カクテ流通手段ノ機能のナ形態乃

チ鑄貨ハ其ノ性質上觀念化ナル可キ要因ヲ既ニ持ツテ居ル

我々ハソレヲ先ツ鑄貨ノ通用ニ於テ分量ノ速度ニ依リテ置換ヘラレルト云フ莫ニ見ヘル。例ヘバ一匁ノ金ヲ含ム五匁金貨ノ一日ノ平均流通速度ガ十テアルトスレバソレハ一日ニハ金十匁五十匁ニ等シキ商品ノ価格ヲ実現スル訣テアルガ併シ五匁金貨自体ハ如何ニ觸ツテ見テモ十匁ノ金テハナク、ソレハ全ク一匁ノ金テアル。五匁金貨ガ其ノ流通手段トシテノ機能ニ於テ其ノ現實的ナ存在以外ニ獲得スル還元的ナ存在テアルニ過ギナイ。從テ之ハ元ヨリ流通過程ノ内部ニ於ケル貨幣ノ機能的存在ニ於テノミ可能テアル。

Coin ノ所謂觀念化ハ更ニ次ノ莫ニモ表レル。Coin ハ本末地金トハ唯形狀ヲ異ニシテ居ルダケテアルカラ一方カラ他方ヘ轉化シ他方カラ一方ヘ轉化シ得ルノデアアルカ。Coin ハ一旦流通ニ投ゲ込マレルト外界トノ摩擦ニ依テ多少ノ差コソアレ次第ニ磨滅シテ名目上ト實際ノ価値トガ分離シ始メ商品ノ現實ノ對価物テナクナル。斯クテ Coin ハ其ノ流通ニ於テ地金ノ金或ハ銀ノ單ナル板想的ナ存在ニ轉化スル。或ハ昇準スルニ至ル。乃チ Coin ハ實際的

ニハ最早販賣サレタ商品ノ對価物テハナイニモ拘ラス其ノ適法ナル形狀刻印ニ依リテ定メラレタ價格ヲ通用スルノデアアル。此ノ流通過程其レ自身ニ依リテ行ハレル Coin ノ第二ノ觀念化乃チ貨幣ノ名目上ノ内容ト現實ノ内容トガ分離ハ一方テハ政府ニ依リテ他方テハ金銀地金商等其他個人的投機者ニ依リテ貨幣製造ニ利用サレ中世ノ始メカラ十八世紀ニ至ル鑄貨史ノ暗黒面ヲ形成カレテ居ル。尤モ此ノ Coin ノ板想的存在ト現實ノ存在トノ分離ハ長キニ歩ツテハ分離シ得ナイ。何故カ。Coin トシテハ多クノ磨損シタ物モ然ラサルモノモ一枚ニ通用スルガ故ニ完全ナル重量ヲ有スル Coin ハ磨削サレテ地金トシテ買却サレル。從テ今マ磨損乃至蝕削ノ結果凡テノ五匁金貨ガ金ノ一匁ノ代リニ金八分ヲ含有スルニ過ギナクナル。斯クテ五匁金貨ハ地金市場テハ最早八分ノ金シカ。ヒ得ナイノニ Coin トシテハ依然トシテ五匁トシテ通用スルトスレバ Coin ノ計算名ハ同一テ有ルガ其ノ計算名ハ最早前ヨリ、ヨリ少イ金ノ分量ヲ指示スルトナルカラ、ソレハ結局價格本位ガ変更サレタト同ジ結果トナル。カカル價格本位ノ変更ガ週期的ニ繰返サレタト云フハ

何故ニ近代國家ノ「史ノ上」テ同一計算名ノ表ス金屬内容ガ相次イテ減少サレ
 テ行ツタカラ説明スル、カノ惡貨ハ良貨ヲ駆逐スルト云フグレシヤムノ法則
 ハ且ニコウシタ事與ノ公式化ニ過ギナイ。故ニ *Cash* ノ假象的ナ存在ト現實
 的存在ノ分離トガ遂ニ極格本位ノ變更ニ導クテ妨ケルヲハ何ラカノ仕方ニ
 依テ人為的ナ限界ガ設ケラレナケレバナラナイ。所謂通用最輕量目ノ規定ハ
 直接ニ此ノ要求ニ依順スル物デアル。例ヘバ我が貨幣法ハ公定量目ノ「〇〇〇」必
 ノ五円金貨ガ舊損其ノ他ニ依テ「〇〇」以下ニ降ルトモハ其ノ通用ヲ禁止サ
 レテ居ル。然シ *Cash* ハ地金ガ *Cash* ニ形成サレル瞬間ニ多カレ少カレ既ニ假
 象的存在ニ轉化スルト云フ「*7*」ガ出来ル。ト云フノハ貨幣鑄造ハ技術的ニ絶対
 的嚴密サヲ期スル「*7*」ハ出来ナイカラ多少ノ誤差ハマヌカレナイ。之レ通用最
 輕量目ノ規定ト並ンデ公差ノ規定ガ設ケラレテ居ル所以デ有ル。併シ元ヨリ
 通用最輕量目ノ規定マ公差ノ規定ガ不完全ナ価値ノ *Cash* ヲ完全価値ノ *Cash*
 タラシムル物デナイ。幣口之等ノ法律上ノ諸規定ハ *Cash* ノ流通手段ノ機能
 的ナ存在トシテハ必要ニ觀念化サレル可能性ヲ持ツト云フ流通過程ノ自然性

的傾向ガ法律ニ依テ公認サレタニ過ギナイ。タカラ現ニ *Cash* ガ流通手段タ
 ル「*7*」止メテ一步デモ国内流通ノ外ニ出ズレバ *Cash* ノ価値ハ簡單ニ其ノ地
 金トシテノ分量ニ依リテ評價サレル。

流通手段ノ機能的存在デアル *Cash* ノ觀念化ハ所謂補助貨ニ於テ一層明瞭
 ニ表ハサレル。小規模ノ取替ガ回断ナク繰返ヘサレル商品流通ノ範圍デハ金
 貨ハ非常ニ早ク磨滅サレテ多カレ少カレ其ノ實體ノ章標乃至象徴ニ轉化スル。
 併シ如何ナル物モ其レ自身ノ象徴デハアリ得ナイ。殊ニ恰モ齊セタ馬ガ肥ヘ
 タ馬ノ象徴タリ得ナイ如ク磨損サレタ金貨ハ完全價值ノ金貨ノ象徴タリ得ナ
 イ（前項参照）金ハ自分自身ノ象徴トナルガ自分自身ノ象徴トシテハ役にテ
 得ナイ。カラ金ガ最も速ニ磨滅スル流通範圍ニ於テハ乃チ購買及び取替ガ最
 モ少キ規模ニ於テ絶エズ更新サレル範圍ニ於テハ金ハ金トシテ存在カラ分離
 セル象徴的ナ銀或ハ銅貨ノ存在ヲ獲得スル。從ツテ此ノ種ノ流通範圍ニ於テ
 ハ銀貨或ハ銅貨ガ金銀ノ象徴トシテ本来ハ本位貨（価値尺度或ハ極格本位ヲ
 標示スル金屬貨幣）タル金貨ノ占ム可キ位置ヲ代ツテ占ムル「*7*」ガ出来ル。斯

クノ如ク本位貨ヲ象徴スル少額ノ Coinage が補助貨ヲ有ル、從テ又補助貨タル銀或ハ銅貨ハ觀念的ニハ金貨デアツテ其ノ表示スル所ノ名目上ノ価値ハ銀貨或ハ銅貨ノ地金ガ持ツ金価格デハナク、ソレガ象徴スル金貨自身ノ価値テ有ル、補助貨ニ於テハ從テ当然ニ其ノ名目的ノ価値ト實際的価値トハ甚シク異リ所謂公差ヲ通用最輕量目モ殆ンド向應ニテラヌ、補助貨ガ金ノ幾何ノ価値ヲ代表スルカハ鑄造叔ヲ持ツテ居ル國家ノ任意ニ定メル所ニ依テ定マル、之レ補助貨ガ定位貨幣ト呼バレル所以デアルト

所テ此ノ補助貨ガ流通ニ於テ實現スル価格ノ範圍ニ何等ノ制限モナイナラバ實際的価値テハ比較ニナラナイ程ノ差位アル金貨ト銀貨ノ二種ノ鑄貨ガ名目的価値テハ全ク一致ニ通用スルノデアルカラ、ニヨリ高位ナル本位貨金貨ハ凡ベテ地金トシテ鑄造サレテ補助貨ナル銀貨ノ含有スル地金乃チ實際的価値ヲ直接ニ基礎トスル所ノ全ク別個ノ銀價格本位ガ出現スルデアロウ、從テ補助貨ガ其ノ使命カラ逸脱シテ本末ノ貨幣トシテ本位貨ノ地位ヲ犯サナイ為ニハ補助貨ガ實現シ得ル價格ノ限ヲ規定セネバナラヌ、金鑄貨ガ鑄貨トシ

テノ其ノ機能ニ固定スルコトヲ妨ゲル為ニハ鑄貨ガ貨幣タル資格ヲ失フ可キ金屬喪失ノ程度ヲ決定スルノデアルガ、其レト及対ニ銀及ヒ銅ノ名目貨幣ガ其ノ流通範圍カラ金貨幣ノ流通範圍ニ移リ行キ貨幣トシテ固定スルコトヲ防グ為ニハ其等ガ法律上實現スル價格ノ程度ヲ規定スルノデアル、此ノ意味カラ本位貨ガ無制限通貨ト呼バレルニ及シテ補助貨ガ制限通貨ト云ハレル、補助貨ノ規定ハ以上ノ如クデアルカラ貨幣地金ノ所有者ニ対シテハ有償或ハ無償テ無制限ニ鑄造ノ求メニ應ズル所謂自由鑄造ガ補助貨ニ於テ向應トナラヌコトハ云フ迄モナク補助貨ハ以補助貨ニ依テ代位サレル少額ノ金貨ガヨリ大ナル額面金貨ノ釣り銭ノ為カ或ハ其レニ適當シタ少額取引ノ價格實現ノ為カ絶ヘス流通ス可キ筈ノ分量ニ於テ發行サレサヘスレバ良イノデアル

B. 價值章標、紙幣

以上ノコトカラ銀又ハ銅ノ名目貨幣(補助貨)ガ金貨ヲ代値シ得ルハ其ノ銀貨或ハ銅貨ガ銀或ハ銅ノ一定量ヲ含有シテ居ル為デハナク流通過程ノ内部ニ於テハ金貨幣ニ自体ガ觀念化サレルト云フ流通手段ニ固有ナ形式規定ニ依ル

下が解ル、之レ銀貨、銅貨、一度流通ニ入ルヤ其ノ向断ナキ流通ニ依テ極メ
 テ急速ニ磨滅シテ其ノ仮象ニ轉化スルニモ尙ラズ所謂通用最輕量目等ノ規定
 ガ向断ニナラナイ所以デアル、乃チ銀銅ノ各自貨幣ガ金鑄貨ノ象徴デアルノ
 ハ、其等ガ或ル価値ヲ有スルカラデモ無ク寧ロ其等ハ何分ノ価値ヲ有セザル
 限リニ於テノミ金鑄貨ノ象徴デアル、總テ自体相對的ニ何等ノ価値モナイ紙
 券ガ金貨幣ノ象徴トシテ作用スル下ニ何等ノ不思議モナイ、今ヤ金貨幣ハ流
 通過程ニ於テ完全ニ觀念化サレテ無価値ノ紙券ニ於テ其ノ象徴的ナ存在ヲ獲
 得スル、金鑄貨ノ名目的価値ト實質的価値トノ間ノ最初ノ目ニ見ヘナイ差異
 ガ今ヤ絶對的ニ分離シ金鑄貨ハ完全ニ昇華 (*rich sublimieren*) シテ單ニ
 価値章標トシテ紙券トナル、之所謂紙幣デアル、之ハ既ニ繰返ヘシ述べタ如
 ク流通過程ノ内部ニ於テハ金貨幣ハ本來觀念化サレル可能性ヲ有スルカラデ
 アル、乃チ商品流通ガ W 下 下 販売ト G 下 W 購買ノ統一的过程 W 下 G 下 W 下
 構成シテ居ル限り商品ノ交換価値ハ価格及ビ貨幣ニ發展スルノハ直チニ再ビ
 此ノ形態ヲ棄棄シ他ノ商品ニ再轉化センガ為デアツテ單ニ交換価値ノ外觀上

ノ独立化ニ過ギズ、他方ニ於テ貨幣金ハ其レガ流通シテ居ル限りテハ商品轉
 形ノ連鎖及ビ商品ノ唯一的ナ貨幣存在ヲ表ハシ他ノ商品ノ価格ヲ實現センガ
 為ニノミ或ル一商品ノ価格ヲ實現スルノデアツテ、其レハ何処ニ於テモ靜止
 的ナ存在トシテハ表レナイ、故ニ商品ノ交換価値ガ此ノ過程ニ於テ獲得スル
 實在性及ビ金ガ其ノ通用中ニ於テ表ス實在性ハ只所謂電氣火花ノ實在性ニ過
 ギナイ、タカラ金貨幣ハ流通手段トシテ機能スル限り觀念化サレテ先ズ磨滅
 シタ金鑄貨ノ形態ヲトリ次ニハ補助鑄貨形態ヲトリ最後ニ無価値ナル紙券ノ
 形態ヲトリ得ルノデアル、タカラ此ノ下ハ次ノ條ニモ云フ下ガ出來ル、
 下流通過程ノ内部ニ於テ金貨幣其レ自体ガ其レ自身ノ価値ノ章標トナル場合
 ニノミ單ナル価値章標ガ金貨幣ニ代位シ得ルノデアル、ト、從テ元ヨリ先ニ
 述べタ補助鑄貨ト紙幣トハ事實上全ク異ル所ナク只補助鑄貨ニアツテハ純粹
 ニ象徴的ナ性質ガ未ダ何程力蔽ヒ隠サレテ居ルニ及シテ紙幣ニアツテハ其レ
 ガ外觀的ニモ顯ハニナツテ居ル差異ガアルニ過ギナイ、
 所テ斯クノ如ク相對的ニ無価値ナル物、例ヘバ華券、紙券、紙片等カ貨幣

ノ章標、或ハ象徴トナルノハ最初ハ全ク慣習ノナス所デアル、然シ其等ガ貨幣ノ章標或ハ象徴トシテ主張サレル為ニハ其ノ一ガ商品所有者ノ一般的意思ニ依テ保証サレルヲ、換言スレバ法律ニ依テ其等ノ象徴的ナル革命、紙片ノ一定ノ定型の形態ガ規定サレル、カナル定型の章片又ハ紙幣ノ移轉引渡シガ其ノ象徴スル貨幣ノ移轉引渡シヲ意味スル所ノ所謂強制通用力ノ賦與ガ必要デアル、強制通用力ヲ有スル國家紙幣ハ其ノ完全ナル形態デアツテ單純ナル商品流通力ヲ發生スル紙幣ノ唯一ノ形態デアル、之ニ反シ所謂不換紙幣トハ銀行券ガ兌換ヲ停止サレ強制通用力ヲ賦與サレテ生ズル紙幣デアルカ銀行券ハ小切手、為替手形等ト共ニ所謂信用貨幣ニ屬シテ居ル、而ルニ信用貨幣ハ固有ノ意味ノ紙幣ニ對シテ商品生産ノヨリ高キ發展段階ニ屬シテ居ル、蓋シ信用貨幣ハ後ニ述ベル所ノ如ク貨幣ノ支払手段ノ機能ニ基テ貨幣形態デアリ貨幣ノ支払手段ノ機能ノ物ハ商品生産者相互ノ交互的ナ前貸關係ノ成立、乃チ信用ヲ前提シ今迄ヨリヨリ高度ナ商品生産ノ段階ヲ前提シテ居ルカ故ニ固有ノ意味ニ於ケル紙幣ノ概念規定ニトツテハ其レガ不換デアルカ

否カノ問題ハ本質的ナ意味ヲ持ツ物デナク寧ロ不換紙幣ト云フコソツノ

Justology

デナケレバナライ、ト云フノハ單ナル価値章標紙幣カ流通スル

ハ本末未流通過程ノ内部ニ於テハ金貨幣共レ自体ガ其レ自身ノ価値ノ單ナル章標トナル為デアツテ其レガ貨幣ニ兌換サレルカ否カニ拘ハル物デハナイカラデアル、之ニ反シ銀行券ハ本来信用貨幣デアルカラ其ノ通用ハ全ク兌換ノ可能性ノ確實ヲ如何ニ依ルノデアル、金屬貨幣ノ鑄造ハ外面の形態ハ既ニ國家ノ干涉ヲ喚ビ起シ、其レト同時ニ國內流通ハ一般的商品流通ト明カニ分離シタノデアルガ此ノ分離ハ鑄造ガ更ニ価値章標へ發展スルヲ依テ完成サレタ、貨幣ガ單ナル流通手段トシテ独立ナ存在ヲ持テ得ルノハ一般ニ唯國內流通ノ範圍内ニミ限ラレルノテ有ルレト

所テ最後ニ価値章標トシテノ紙幣ニ付イテ起リ易イ誤解ニ付イテ一言シヨウ、価値章標トシテ紙幣ハ恰モ商品ノ価値ヲ直接ニ代表スルカノ如キ外觀ヲ呈スル、蓋シ紙幣ノ如キ価値章標ガ其ノ機能ヲ果ス流通部面ニ於テハ商品ノ交換価値ハ價格ニ於テ單ナル觀念的存在ヲ獲得シ貨幣ニ於テハ單ナル象徴的

ク其ノ社会的流通価値ニ依テ決定サレル。只此ノ際紙幣本位性ノ場合ト異ル
所ハ金貨銀貨ノ価値ハ如何ニ低落シテモ地金ノ価値以下ニハ低落シナイテ
アル。

既ニ述ベタ如ク価値章標ノ紙幣ハ金章標デアルカ併シ紙幣ガ流通界ニ於テ
金章標タリ得ル限界ハ常ニ与ハラレテ居ル。乃チ流通ニ吸収サレル金貨ノ分
量ガソレデアツテ此ノ範圍ニ於テシカ紙幣ハ金章標タリ得ナイデアル。ソ
シテ流通ニ吸収サレル或ハ必要トサレル金貨ノ分量ハ価値尺度タル金ノ価値
ガ興ハラレテ居ルナラバ流通スル商品ノ価値總額ニ依テ定マルシ商品ノ価値
ガ興ハラレテ居ルナラバ金自身ノ価値ニ依テ定マル。ゴカラ例ヘバ今商品流
通ニ必要ナル金ノ總量ヲ二十四億円トシテ十円紙幣二億四千万枚ハ印刷サレ
テ流通ニ投セラレルトスルナラバ各十円紙幣ハ將ニ等シイ名称ヲ十円金貨ニ
代位スル物デアアル。ソシテ此ノ限リニ於テ乃チ各紙幣ガ等シイ名称ノ金貨ニ
代ツテ現實ニ流通スル限リ紙幣ノ流通ハ將ニ貨幣流通ノ法則ヲ反映スルニ過
ギナイ。而ルニ國家ガ今紙幣ノ十二億枚印刷シテ流通ニ投ジテモソレハ矢張

セの

流通ニ吸収サレル。蓋シ國家ガ任意ニ十円五十円等ノ鑄貨名ノ紙幣ヲ印刷シ
テ其ノ任意ノ數量ヲ強制的ニ流通ニ投ケコマレタ紙幣ハ一方ニハ貨幣ノ流通
手段トシテノ機能ガ紙幣トシテ独立化シ得ルノハ國境内ニ限ラレル。他方
ニハ流通ノ外デハ紙幣ハ單ニ無価値ナル紙屑ニ外ナラナイノテ決シテ流通ノ
外ニ排斥サレナイカラデアアル。從テ此ノ場合ニハ乃チ國家ガ干涉シテ強制通
用カラ持ツタ紙幣ヲ發行スルニ至ルト貨幣流通ノ法則ハ排棄セラレタカニ見エ
ル。併シ此ノ場合ニ十二億枚ノ十円紙幣百二十億ノ紙幣ガ金章標トシテ代位
シテ金ノ總量ハ矢張カカル章標ニ依テ代位サレナイ限リ現實ニ流通スルヲ要
スル所ノ金ノ二十四億円デアアル。之ハ恰モ從来ノ金本位ニ代アルニ其ノ五分
ノ一ノ金本位ノ以テスルニ等シイ。換言スレバ価値本位ノ名称タル円ハ依然
トシテ円デアアルカ其ノ指示スル金屬内容ハ從来ノ五分ノ一ニ切下ケラレタニ
等シイ (*denomination*)。此ノ場合變動シタモノハ価値本位ノ名称ガ変ツタダ
ケデアアル。ソコデ商品価格ハ五倍ニ騰貴シ從来商品ノ流通上十円券ニ億四千
万枚が必要デアツタ旅ニ今度ハ十円券十二億枚が必要ノデアアル。之ニ依テ

七一

解ル故ニ価値章標ノ總額ガ増加スルト同ジ比例テ各章標ノ代表シテ居ル金ノ
分量ハ減少スル。価値ノ騰貴ハ只流通過程ノ反動ニ外ナラナイノデアツテ、
流通過程ハ価値章標ヲ強制シテ価値章標ガ其ノ代ハリニ流通スルト主張シテ
居ル金ノ分量ト等位ニ置コウトスルノデアアル。ダカラ紙幣ガ排他的ニ流通手
段ヲ構成スル場合ノ或ハ商品価格ノ騰落ハ紙幣ノ分量ノ増減ニ伴フト云ヒ或
ハ紙幣ノ価値ハ紙幣ノ分量ニ依テ定マルト云フ紙幣流通ニ固有ナ事實ハ流通
スル金ノ分量ハ商品価格ニ依テ定マリ流通価値商標ノ分量ハ流通ニ於テ其ト
ガ代表スル金鑄貨ノ分量ニ依テ定マルト云フ法則ガ外部カラ機械的ニ破ラレ
タ場合ニ之ヲ流通過程ガ強制的ニ主張セル物ニ外ナラナイ。紙幣ノ任意ノ分
量ガ流通過程ニ依テ吸収サレ消化サレルノハ紙幣ガ如何ナル金価格名ヲ負ビ
テ流通ニ入ツテ来テモ流通過程ノ内部ニ於テハ其ノ代ハリニ流通シ得ル金分
量ノ章標ニ迄圧縮サレルカラデアアル。ダカラ紙幣ニ固有ナ流通法則、乃チ紙
幣ノ価値ハ紙幣ノ分量ニ依テ定マルト云フ法則ハ恰モ貨幣數量説(Quantity
Theory)ニ依テ説明サレ基礎付ケラレル如クデアアルガ寧ろ反対ニ我々が既ニ

繰返ヘシ述バタ貨幣流通ノ一般的法則。通貨ノ分量ガ商品ノ価格増額ニ依テ
定マルト云フ法則ニ依テ始メテ説明サレ基礎付ケラレルノデアアル。而ルニ貨
幣數量説ハ却テ反対ニ此ノ紙幣ノ流通法則ヲ貨幣ノ一般的流通法則タラシ
メル物デアアルト、又事實上數量説ニ於テハ十八世紀カラ十九世紀ニカケテ起
ツタア史上有名ナ紙幣氾濫ノ事實ガア史的基礎トナツテ居ル事モ良ク知ラレ
テ居ルノデアアル。

所謂 Inflation ナル言葉ハ苟モ物価騰貴ヲ直接結果スル称ナ通貨膨脹ヲ意
味スル限リ、ソレハ紙幣(固有ナ紙幣ノ乃チ國家紙幣タルト不換紙幣タルト
ヲ同ハズ)ニ付イテノミ云ヒ得ル訳デ有ル。併シ紙幣モソレガ等シイ名額ノ
金貨ノ章標トシテ現実ニ流通スル限リハ其ノ數量ノ増減ハ少シモ物価騰貴或
ハ下落ヲ引起シ得ル筈ハナク、此ノ場合ニ紙幣ノ金貨ト同額ニ寧ろ物価騰貴
或ハ物価下落ノ結果トシテ増減スルノデアアル。從テ紙幣ノ數量ガ此ノ正シイ
割合ヲ破ツテ流通ニ押シ付ケラレタ場合先ノ例デ云フナラバ流通商品価格總
額金ニ十四億圓ニ対シテ十円券ガニ億四千万枚ノカードニ十二億枚押シツケ

ラレタ時ニ始メテ我々ハ此ノ通貨膨張ハ *Inflation* ト呼ビ得ルノデアル、而カレドモ此ノ正シイ割合ガ外部的ノ干涉ニ依テ破ラレ得ルノハ其ノ性質上固家紙幣乃至不換紙幣ニ限ル、故ニ單ニ銀行券ノ材料ガ紙片デアルカラト云ツテ其ノ発行額ノ膨張ヲ *Inflation* ト呼ビ更ニ普通銀行当座預金勘定ノ (*Deposit currency*) 預金通貨トモ云フノ膨張ヲモ含メテ之ヲ單純ニ *Inflation* ト呼ブフハ言葉ノ概要デアツテ其レハ單ニ信用ノ膨張ニ過ギズ、而カモ其ノ信用膨張ニシテ正常ナル信用操作ニ基ク限リカ、ル信用膨張ハ直接ニハ何ラノ物價騰貴ヲモ結果シ得ナイ、寧ろ貨幣資本ノ使用量トシテノ利率ノ低下ヲ結果スルニ過ギナイダロウ、此ノ意味ノ *Inflation* ヲ信用 *Inflation* ト呼ブナラバ前ノ意味ノ *Inflation* ハ之ヲ固有ノ意味ノ *Inflation* ト呼ンデ前者ト區別ス可キテ有ロウ、

第三節 本來ノ貨幣(價値尺度及ビ流通手段ノ統一トシテノ貨幣ノ機能)

一、概説

我々ハ以上ニ節ニ於テ貨幣商品金ノ價値尺度並ビニ流通手段トシテノ機能ヲ考察シタ、所デ既ニ述ベタ如ク金ガ價値尺度トシテ作用スル場合、其レハ觀念的ニ作用スルノテ現實ニハ金ノ一分子モ必要トシナイシ又流通手段トシテ作用スル場合、其レハ商品ト並ンデ流通スルガ價値章標ニ依テ代領セラレ得ルヲ學ンダ、而ルニ以下ニ於テハ貨幣金ガ單ニ觀念的ナ金、乃チ計算貨幣トシテモ無ク又單ナル價値章標トシテモ無ク直接金其レ自ラノ現身ノママテ表ハレナケレバナラナイ機能ガ問題トナル、換言スレバ商品金ガ價値尺度及ビ流通手段ノ統一トシテ、即チ本來ノ貨幣トシテ作用セネバナラナイ機能ガ問題トナル、

二、蓄藏手段(退藏貨幣)

商品ノニツノ対立的ナ轉形過程乃チ販賣ト購買トガ連続的ニ行ハレル限リ貨幣ハ單ニ流通手段トシテ機能シテ居ルニ過ギナイ、而ルニ商品轉形ノ過程ガ中断サレテ販賣サレルダケデ購買ガ行ハレナイナラバ貨幣ハ其処ニ退藏サ

レテ流通手段ハ轉ジテ蓄藏手段トナル、元來商品ノ流通 W-I-W ハ商
 品ノ貨幣ヘノ轉形ト貨幣ノ商品ヘノ轉形、換言スレバ販賣ト購買ト云フニツ
 ノ独立ナ行為ト過程的ナ統一デアツテ販賣ト購買トヲ多カレ少カレ時間的ニ
 分離シテ居ル、從テ其ノ分離ノ間ハ貨幣ハ停滞シテ流通手段タル機能ヲ停止
 シ一時のニ蓄藏手段トシテ機能セズナラナイ、ノミナラスG-I-Wノ購買
 W-I-G販賣ハ商品ノ生産條件其ノ他ニ依ツテ制約セラレルニ對シテ寧ろ購買ニ分
 手ノ不斷ニ更新スル生活欲望ニ依テ制約セラレ從テ一列ノ繼起的ナ購買ニ分
 列スルガ故ニ流通手段ノ一部分ハ常ニ滞留ヲ余儀ナクサレル、從テ流通手段
 トシテノ貨幣ノ流通手段トシテ機能スル為ニハ代ハル代ハル流通ヲ停止シテ
 一時的ニ流通手段カラ蓄藏手段ニ轉化セザルヲ得ナイ、然シカカル流通手段
 ノ蓄藏手段ヘノ轉化ハ所謂「貨幣流通其ノ自身ノ單ナル技術的契機ニ他アラ
 ナイ、換言スレバ貨幣が流通手段トシテ機能スル為ニハ必ず果サナケレバナ
 ラ又機能デアツテ本來流通手段トシテノ機能ニ從屬スル物デアル、然ルニ商
 品其ノ物が發展スルト買フ為ニ売ルノ代ハナク寧ろ商品價值ノ体化物金ヲ蓄

積スル為ニ売ルコト自体ガ自明トナリ從テ商品ノ亦ニノ轉形過程ガ意識的ニ
 妨ゲラレルトニナル、斯クノ如クナレバ貨幣ノ蓄藏手段トシテノ機能ハ最早
 他ノ諸機能ニ對シテ明白ニ独占シタ機能トナルト同時ニ從來ノ商品販賣者ハ
 又貨幣退藏者ニナル

元來商品流通ノ始メニ當ツテハ過剩ナル生産物ハ交換サレテ商品トナツタ
 從テ販ラレタ商品ノ貨幣形態ハ必ずシモ購買ノ為ニ貨幣形態カラ商品ヘノ轉
 形ヲ必要トセス寧ろ如何ナル商品トモ直接交換可能デアル所ノ本來ノ貨幣金
 銀コソ此ノ場合ニ最も適當ナ存在形態デアツタ、古代民族ノ林ニ純粹ニ金屬
 流通ガ行ハレタ、民族ノ間ニ於テハ個人カラ國家ニ至ル迄總テノ物ニ依テ行
 ハレタ、又恒定的ナ限界ヲ持ツタ或ル範圍ノ欲望ガ傳統的ナ自足的ナ生産ノ
 仕方ニ適応シテ居ル諸國民ノ間ニ於テハカカル粗朴ナ蓄藏ノ形態ハ殆ンド永
 久殖シテ居ル、現ニ印度及ビ支那ニ於テソウデ有ル、

更ニ商品生産ガ發達シテ來ルト商品生産者ノ物質的欲望ノ不斷ノ満足ハ益
 他人ノ生産スル商品ノ購買ニ依存スルニ至ル、而ルニ彼自身ノ商品ノ生産及

七八
ヒ販売ハ一定ノ時間ヲ要シ且ツ諸種ノ偶然ニ依テ支配サレルカラ彼ハ不斷ニ
欲望充足ヲ遂ゲル為ニハ屢々売ルヲナシニ買フ必要ニ迫ラレル、乃チ貨幣ノ
蓄藏ガ必要トナル、從テ貨幣其レ自身ガ目的トナル、商品ノ轉形、W—G販
売ハ單ニ商品ヲ一時的ニ貨幣ニ轉形シ更ニ之ヲ商品ニ轉形スル、乃チG—W
購買ノ為ニ行ハレルノデハナク交換価値ノ独立ナ存在トシテノ貨幣ヲ獲得ス
ル為ニ行ハレ商品ノ亦ニ轉形過程ガ意識的ニ妨グラレル称ニナル、今ヤ貨
幣ハ商品流通運動ノ單ナル形態デハナク其レ自ラガ内容トナル、尤モ此処ニ
一ツノ向題ガ生ズル、乃チ斯クノ如ク商品生産者ガ貨幣ヲ蓄藏シ得ル為ニハ
彼ハ買フヲナシニ売ラナケレバナライ、併シ買フヲナクシテ売ル為ニハ誰
カカ売ルヲナクシテ買ハネバナライ、而ルニ誰モガ貨幣ノ蓄積ヲ望ミ從テ
買フヲナシニ売ルヲナシニ買フヲナシニ買フヲナシニ買フヲナシニ買フ
シ得ナイトナル、此ノ向題ヲ解ク者ハ貨幣金銀ノ生産者デアル、乃チ其ノ
生産物ノ現物形態カ其ノ紙貨幣デアル所ノ金或ハ銀ノ生産者達ハ資本主義的
生産社会ニアツテハ常ニ文字通りニ売ルヲナシニ買フモノデアアルカラ此処ニ

蓄藏ノ為ニスル販売モ又可能トナル、斯クテ此ノ金銀生産者ノ交換乃チ購買
ナキ販売ヲ通シテ金銀ハ社会ノ此処彼処ニ分配サレ蓄藏ケレル、
所デ斯クノ如ク貨幣ヲ蓄藏スル為ニハ貨幣ノ蓄藏者達ハ常ニ積極、消極ニ
ツノ條件ヲ守ラナケレバナライ、先ツ蓄藏者ハ誰ヨリモ勤勉デナケレバナ
ライ、蓋シ商品生産社会デハ通常彼ガ流通カラ引上グル貨幣量ハ彼ハ流通
ニ投ゲ込ダ商品ノ価値量ニ等シイカラ余計蓄藏シヨウトスレバヨリ多ク商
品ヲ販売スルヲトナリ、從テ予メヨリ多ク商品ヲ生産スルヲ必要デアルカ
ラ、次ニ蓄藏者ハ其ノ蓄藏ノ目的ヲ達スル為ニハ惟ニ勤勉デアアルバカリデナ
ク、節儉禁欲ノ徳ヲ守ラナケレバナライ、蓋シ彼ハ貨幣ヲ流通ニ投ジテ使
用価値ノ形態デ商品ヲ流通カラ引上ゲルヲ、乃チ商品ヲ買フヲガ少ナケレバ
少イ程貨幣ハヨリ多ク蓄藏サレ得ルカラデアアル、要スルニ貨幣蓄藏者トシテ
ハ、カツテ老 *Cats* ガ教ヘタ様ニ家長ナル者ハ得ルヲ欲ス可ク買フヲ欲
ス可キテナイト云フ原則ヲ守ラネバナライ、
而ルニ既ニ述ベタ如ク貨幣ハ質的ニハ一般の等価物トシテ如何ナル種類ノ

商品ト直接交換シ得ルモノデアルトハ其レハ物的富ノ一般的代表者ヲ有リ
品價上ハ如何ナル商品ニ対シテモ無差別平等テ何シノ制限モナイニモ拘ラス
他方ニ於テ貨幣ハ量的ニハ一定価値量ノ体化物デアルカヲ其ノ限りニ於テハ
一定ノ量的制限ヲ持ツテ居リ從ツテ其ノ效力ニ限りアル購買ヲシテオツタニ
過ギナイ、貨幣ニ於ケル此ノ量的無制限ト量的制限トノ矛盾ガ貨幣蓄藏
者ヲシテ一旦貨幣蓄藏ヲ始メルト飽クナキ致富欲ニ駆リ立テルコトニナル、
併シ貨幣蓄藏者ガ其ノ貨幣ヲ流通界カラ退藏シテ之ヲ流通カラ遠ザレバ遠
ザレル程貨幣ノ魂ニ如何ナル商品ヲモ直接交換可能ナル交換價值ヲ物的存在
トシテノ貨幣ノ本質トハ蹂躪サレル、ソレハ貨幣ノ生ケル屍トナル、從テ貨
幣蓄藏者ハ其ノ想像上ノ無限ノ享樂欲ノ為ニ凡バテノ現實ノ享樂ヲ斷タネバ
ナラナイ、彼ハ社会的ニ富メバ富ム程現實ニ食シカラネバナラナイ、乃チ經
済学批判ノ皮肉ナ表現ヲ用フレバ貨幣蓄藏者ハ金屬柱ノ尖端ニ踞ル禁欲主義
ノ聖者デアルト、カカル貨幣ノ為ノ貨幣ノ蓄積ハ實ハ社会的平等ノ生産力ガ
傳統的欲望ノ制限ヲ超ヘテ發展シタラ意味スルモノテ從テ貨幣蓄藏ニ含マ

ル矛盾モ單純的の生産ハ資本主義的の商品生産ニ轉化スルコトニ依テ解決サレル
蓋シ資本主義的の生産方法ノ下ニ於テハ不拂労働ノ支配ニ依テ社会的富ガ増殖
セラレ蓄積セラレルガ故ニ富ノ蓄積ハ最早蓄藏者自身ノ奢侈ト何等矛盾シナ
イノデアアル、タカラ資本主義的の生産方法ガ未ダ充分ニ普及シナイ地方例ハバ
支那、印度ノ與地ニ於テハ今尚此ノ種ノ矛盾ガ繰返ヘサレテ居ル、
尚ツイテ一言スレバ貨幣ノ貯藏ハ直接貨幣ノ形態テサレルノガ通常デア
ルガ其レハ又屢ニ金或ハ銀テ作ツタ器具ノ形態モ行ハレル、蓋シ金或ハ銀自
体ガ抽象的ニ社会的富ノ残余デアアルガ富ノ最大ノ表示ハ其レヲ具體的の效用価
値トシテ利用スルコトニアツタ、富者ニナラフ、而カラズバ富者ニ見セカケヨ
ウトスル、カクテ中世ノイギリスニ於テハ金銀ノ器具ハ法律ニ依テ退藏貨幣
ノ單ナル一形態ト見做サレ從テ其ノ品位ハ金、銀貨幣ノ品位ト全ク同様ニ法
律テ定メラレタガ有ツタガ其レガ為メデアアル、ソシテ價格、金銀ノ器具ヲ
形態トスル蓄藏ハ直接貨幣ヲ形態トスル蓄藏ガ最早行ハレナクナツテモ商品
生産社会ノ富ノ増加ニ伴ヒテ増加スル傾向ヲ持ツテ居ル、

最後ニ斯クノ如ク蓄藏サレタ貨幣金或ハ銀ハ金屬流通ノ行ハレル社会ニ於テハ常ニ社会的又ハ一ツノ機能ヲ果シタ、乃チ流通商品ノ価格総額ガ変動スルニ伴シテ或ハ時ヲ同ジウシテ行ハレル商品轉形ノ分量又ハ其ノ商品轉形ノ速度ガ変動スルニ伴シテ流通貨幣ノ總量ハ絶ヘズ伸縮セザルヲ得又カ此ノ下ハ貨幣ガ一国内ノ此処彼処ニ蓄藏サレテ居ツテ一国内ニ存在スル全貨幣量ハ常ニ現實ニ流通内ニアル貨幣量ヨリモ大デアル場合ニハ始メテ可能ナノデア
 ル、ダカラ蓄藏貨幣ハ價格ガ下落スルカ、流通速度ガ増加スルカシテ流通貨幣ノ一部分ガ余レバ之ヲ吸収スルシ細格ハ騰貴スルカ流通速度ガ低下スルカシテヨリ多クノ流通貨幣ヲ要スル場合ニハ之ヲ放出シテ貨幣ノ數量ノ不断ニ流通界ニ必要程度ニ適応セシメル調節池ノ役目ヲ果シタ、尤モ資本主義的ニ
 発達シタ從テ金屬流通ニ代ハル銀行券流通カ一般的ナル利潤ニ於テハ退藏貨幣ハ最早個人ノ手下ニ退藏サレル代リニ銀行ノ金庫ニ就中地方銀行ノ金庫ニ集中サレ国内的ヨリハ寧ロ國際的ニ上述ノ調節池ノ役目ヲ果ス丁ニナル、

昭和八年 二月二十日 印刷
 昭和八年 二月二十五日 發行
 神田區駿河台三丁目七番地
 編輯兼 岩瀬 利吉
 發行所 廣文社
 不許 複製

終

